

【基本計画】つくりたい住まいを描く

～まずはここから！

住まいのカタチを描く“コンセプトづくり”～

令和7年5月13日(火) 16:00～17:30

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム
地域みらい留学 住まい伴走チーム



○本日の登壇者



合同会社 NOWA

代表

門脇 享平（かどわき きょうへい）

住まい事務局

久保 寛菜（くぼ かな）

○会社概要

所在地：佐賀県佐賀市多布施4-1-15

社員等：役員2名、メンバー3名、パートナー（業務委託）11名

事業内容：教育魅力化に資する事業（高校魅力化の伴走支援、魅力化コンソーシアムの構築支援、高校生が暮らす寮の運営及び寮整備の伴走支援など）

○住まい整備 活動実績

- ・ 有田工業高校シェアハウス立ち上げ・運営支援（R5年度～）
- ・ 佐賀県唐津市高校生寮の立ち上げ・運営支援（R5年度～）
- ・ 山形県高畠町様：基本計画策定支援（R6年度）
- ・ 鹿児島県知名町様：基本計画策定支援（R7年度～）

	研修内容	日時	目指す状態
1	住まい整備の全体像	4月25日(金) 16:00～	入居者受け入れまでに 何をする必要があるか分かる
2	【基本計画】 つくりたい住まいを描く	5月13日(火) 16:00～	住まい整備の軸となる基本計画を 関係者に共有できる
3	【実施計画】 計画を具体化する	6月3日(火) 16:00～	住まいに関わる人たちの 関係性が整理され 年間の運営計画が描ける
4	【運営体制】 継続できる仕組みをつくる	8月5日(火) 16:00～	住まい運営の担当者が 日々の業務を安定して回せる
5	【事例共有】 他地域の実践から学ぶ	9月1日(月) 16:00～	基本計画～実施計画～運営体制 の作り方が分かる

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り

【再掲】地域みらい留学における住まいの種類



寮(20名～40名)



シェアハウス(2名～6名)



宿泊施設



一人暮らし



ホームステイ

※この研修では、「寮」「寮生」「寮運営関係者」
といった言葉を使うことがありますが、
ここでいう「寮」は、

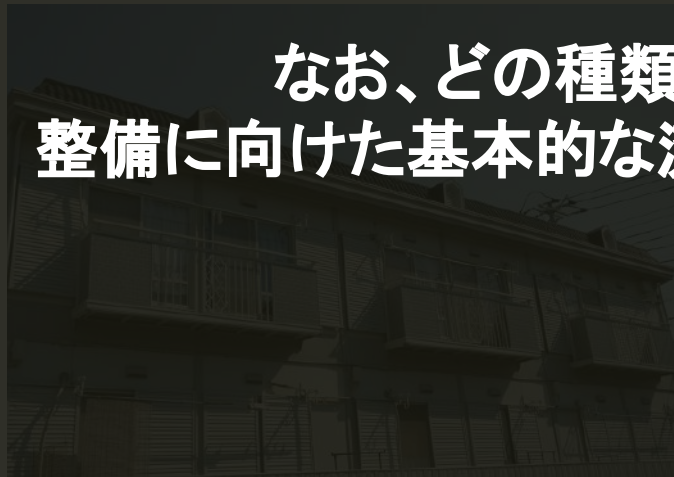
寮(20名~40名)

シェアハウス(1名~6名)

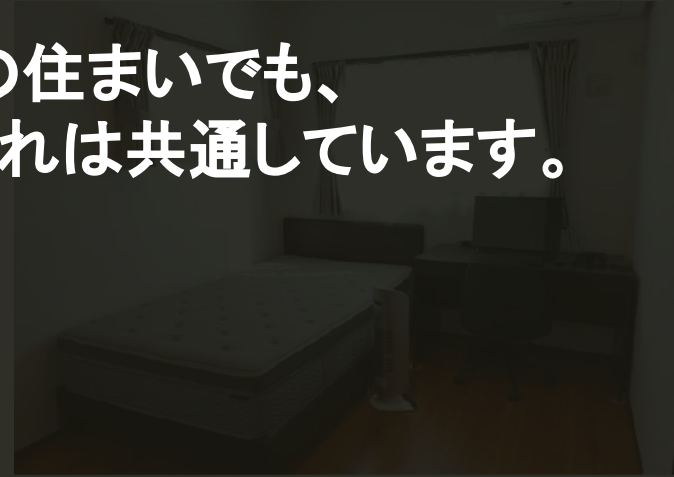
宿泊施設

この5つの住まいの種類をすべて含むものと考えてください。

なお、どの種類の住まいでも、
整備に向けた基本的な流れは共通しています。



一人暮らし



ホームステイ

Case1

あなたは教育寮の設計・運営を担当する役場の担当者です。

この町では下宿先を寮にする計画で基本的にハードの整備はなく、運用に関する設計や計画を立てる必要がありました。地域みらい留学に参画していることもあり、他の自治体の運用している事例を参考に、計画を立て実行してみることに。

学校説明会では、寮の打ち出し方を他の自治体のものを参考に「自由に学べる寮」として打ち出したあなた。なんとか3月までに受け入れ体制を整え、定員に人数に達することができました。

しかし新入生を迎え入れたあと、保護者から連絡が。

「自由な寮と聞いて入れたんですけど、門限が厳しかったり、
学校と連携が取れていなくてかなり制限しているみたいなんだけどどういうこと？」

運営委託先には伝えていたつもりが、知らない間に議論が進み、厳しい方向性に変わったようでした。
皆さんはこの状況をみてどういうことを考えますか？

Case1をみて、ご担当者の皆様はどんなことを考えましたか？もし上記のような状況を未然に防ぐためには、
どんなことをしていればよかったでしょうか？自由に考えてみましょう。

3分

隣の方とペアになり、対処方法を話してみましょう！

Case1

あなたは教育寮の設計・運営を担当する役場の担当者です。

この町では下宿先を寮にする計画で基本的にハードの整備はなく、運用に関する設計や計画を立てる必要がありました。

地域みらい留学に参画していることもあり、他の自治体の運用している事例を参考に、計画を立て実行してみること

「運営」をイメージした上でのコンセプトが大事！

学校説明会では、大きなお金をかけてつくる「寮」は自治体にとっても、

なんとか3月までに受け入れ体制を整え、定員に人数に達することができました。

生徒にとっても大事な場所。

しかし新入生を迎え入れたあと、保護者から連絡が。

「自由な寮と聞いて入れたんです。目指したい状態を明らかにして、

関係者全員で考え抜くことで魅力ある寮を

誰でも、どんな場所でも実現することができます。

皆さんはこの状況をみてどういうことを考えますか？

今回の研修でコンセプトメイキングから逆算し、
寮にどんな機能を持たせるべきなのか、どんな人員を、何人配置すべきなのか、
そしてその配置のための予算や財源についてご紹介したいと思います。

1	寮のコンセプト	30分
2	寮の機能	10分
3	建物の選定・改修計画・備品 / 消耗品	10分
4	役割分担	10分
5	財源の情報提供	5分
6	質疑応答	15分
7	まとめ	5分
8	お知らせ	5分



住まいにおける“コンセプト”がなぜ大切なのか
理解する



コンセプトの作り方がわかる



コンセプトに基づいた、寮の機能や建物の改修、人の配
置の考え方がわかる

基本計画

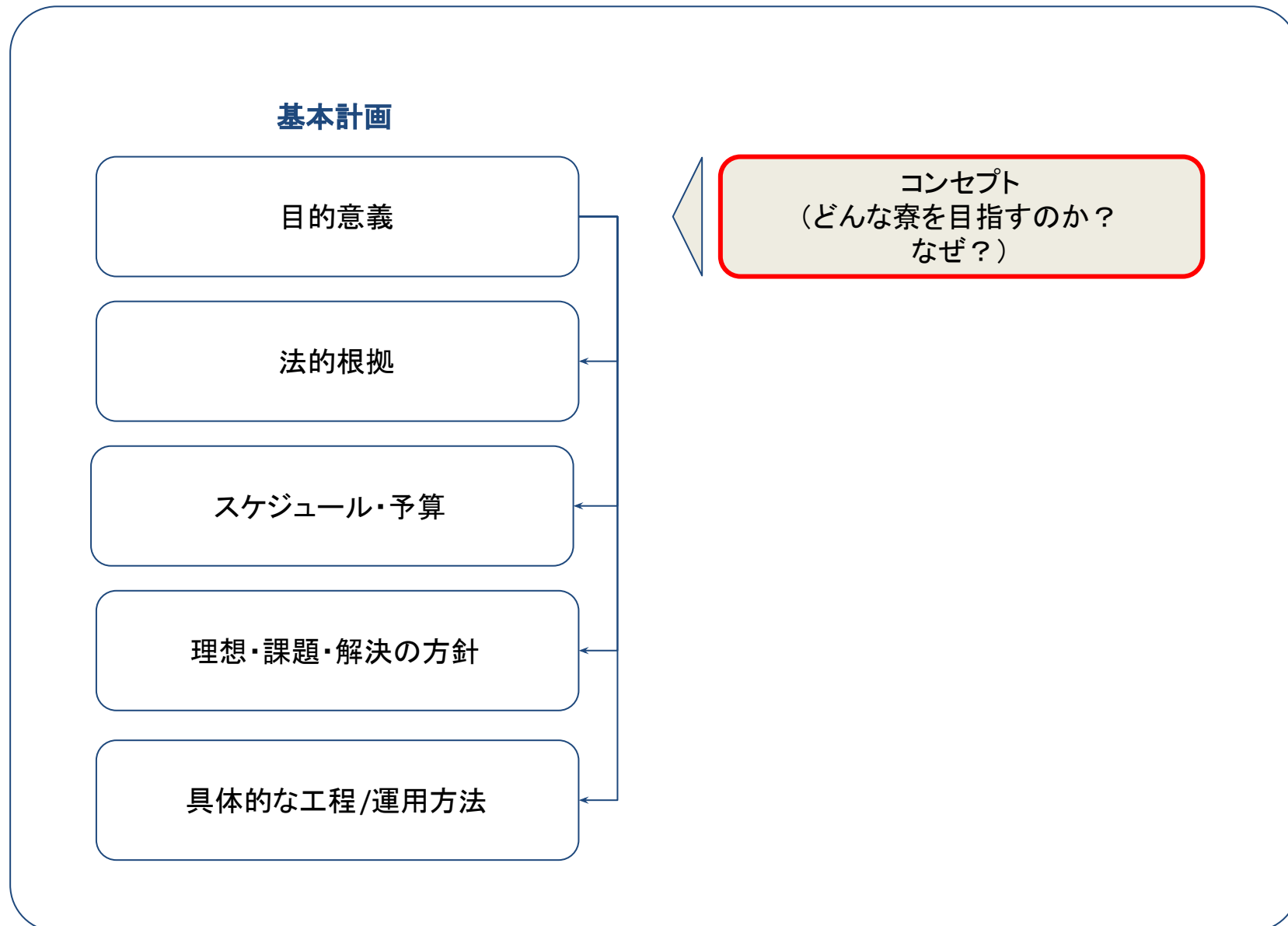
目的意義

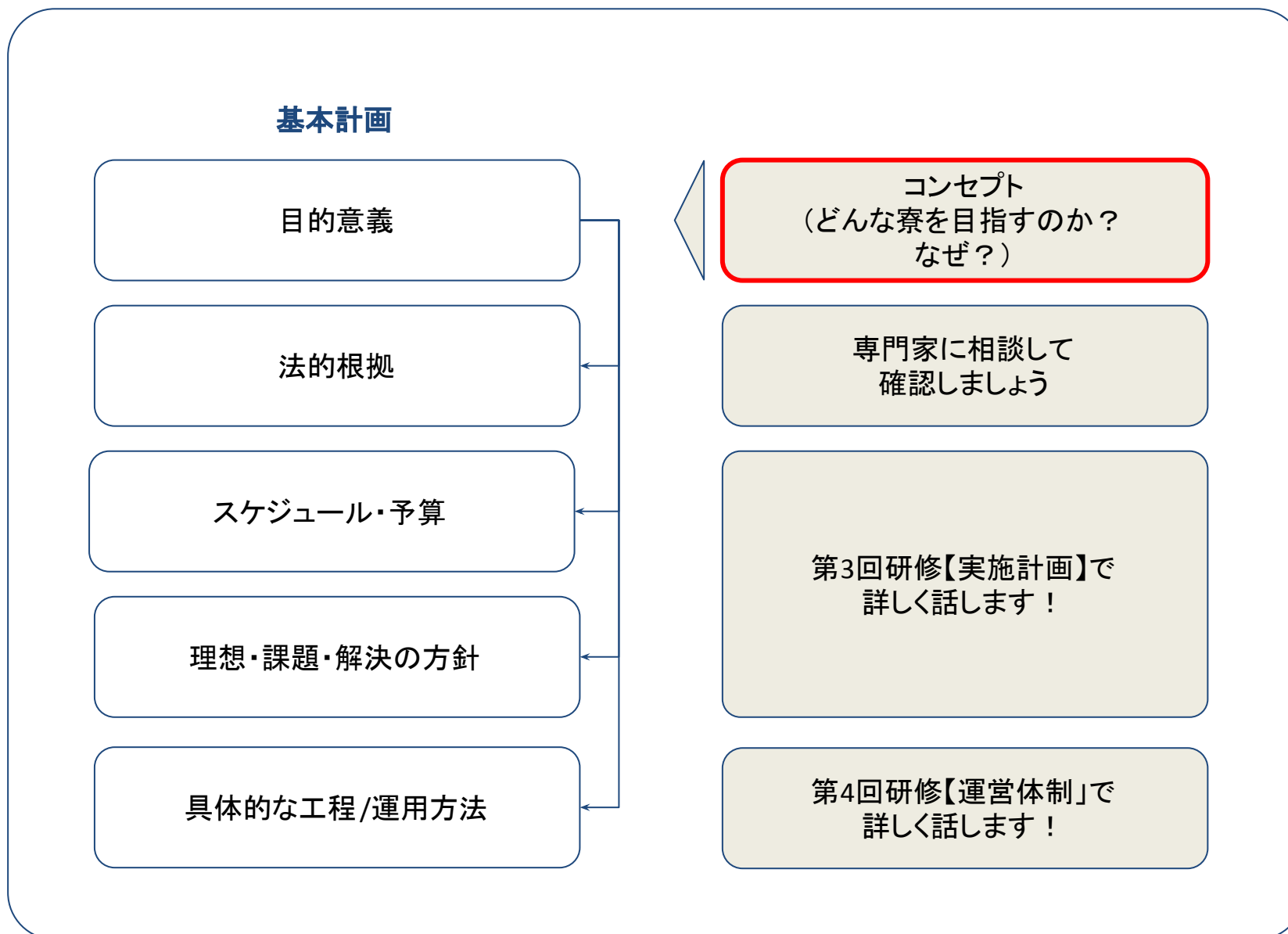
法的根拠

スケジュール・予算

理想・課題・解決の方針

具体的な工程/運用方法





コンセプトの作り方



toiro

後ろ向きな私もいれば、前向きな私もいる。
一人の中にも十色がある。

十色な私の肌を受け止める
新しいスキンケア。

この情報をみて、あなたはどんな商品をイメージしますか？かけるだけ書いてみましょう！

どんな商品
なのかな？

対象年齢は
どんな世代かな？

これを使うと
どうなるのかな？

どんなパッケージ
しているかな？

どんな時に使う
商品なのかな？

皆さんはどんなイメージを持ちましたか？

-Concept-

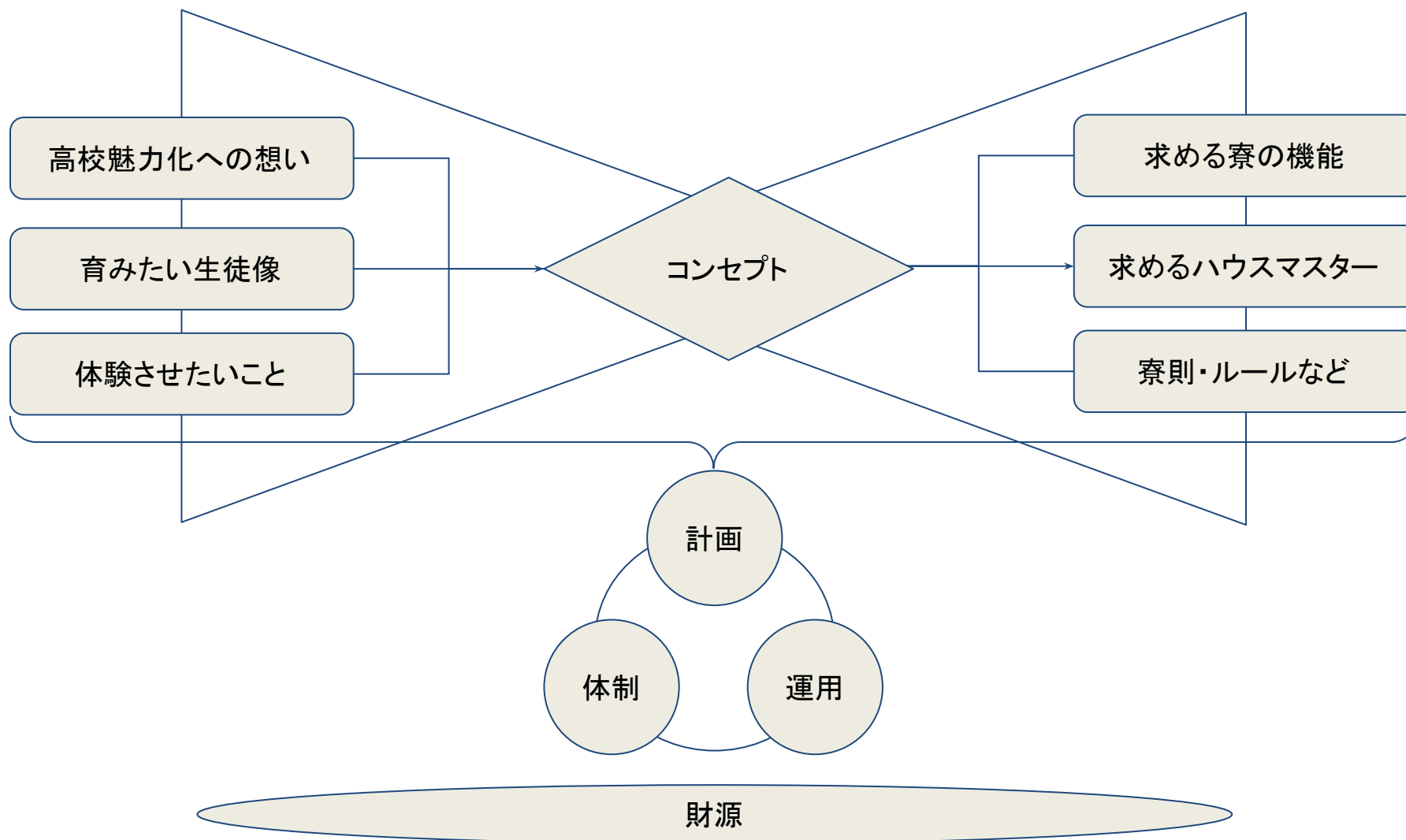
**顧客に対して、どんな価値を提供しているのか？
を端的にまとめた言葉であり、方針・指針・メッセージ**

スシロー：うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。

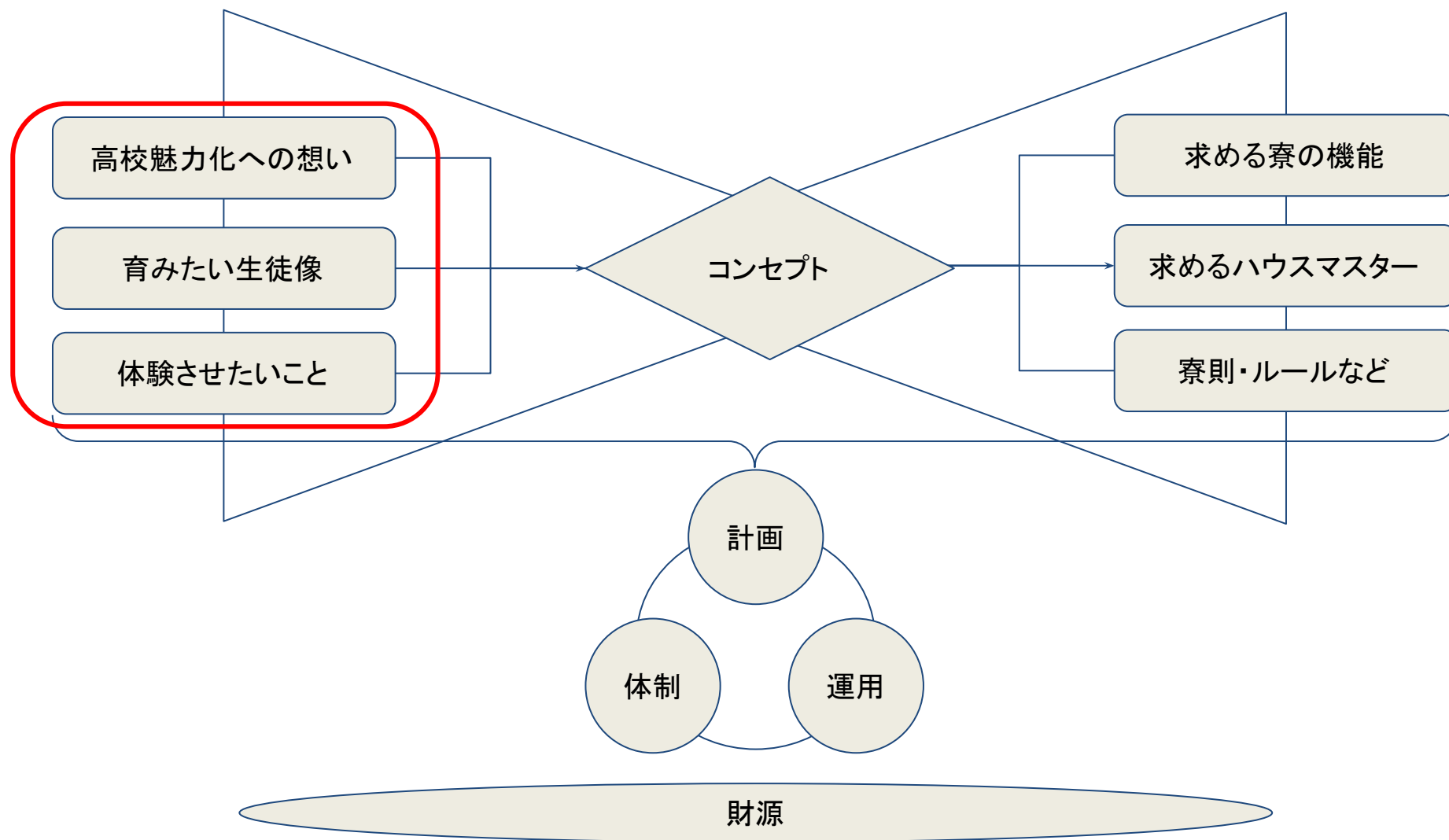
スターバックス：第三の居場所（サードプレイス）

海士町：ないものはない

コンセプトを決めると、toiroのように、誰に対して、何を提供し、
どんな状態になってもらいたいのかを設定することができ、
寮運営においても、物事を決めるための指針になります。



コンセプトを決めることで、寮に求める機能や、求めるハウスマスターの役割などを決めることができます。
コンセプトの実現に向けて、計画・体制・運用でそれぞれ行うことを逆算して設計していくことが重要です。



コンセプトを決めることで、寮に求める機能や、求めるハウスマスターの役割などを決めることができます。
コンセプトの実現に向けて、計画・体制・運用でそれぞれ行うことを逆算して設計していくことが重要です。

学習環境について

ワーク①コンセプトを決めるための要素を考えてみよう！

高校魅力化プロジェクトへの想い

①プロジェクトを 始めたきっかけ

- ☐ 今のまちの高校の状態はどんな状態？
- ☐ どんな高校にしたい？
- ☐ 生徒にどんな暮らしや生活を送ってもらいたい？

②まちの強み・魅力

- ☐ 人口規模や条件が似ているまちはどんな町？
- ☐ その町と何が共通していて、何が違うのか？
- ☐ ここだけは絶対他のところに負けないことは何か？

③まちの課題

- ☐ あなたの町ならでお困りごと3つあげてください！
- ☐ その3つを解決できるとどんな良いことがありますか？
- ☐ その課題を学びに変えたとしたらどんなテーマにしますか？

④プロジェクトへの 意気込み

- ☐ あなたのこのプロジェクトにける意気込みを教えてください！

育みたい生徒像

⑤どんな生徒に きてもらいたい？

- ☐ 生徒には多様な生徒がいますが、想定する生徒はどんな生徒ですか？

【上記を考える上で生徒に生活で求めることはどんなこと？】

- ☐
- ☐
- ☐

⑥②と③から 生徒に提供できる まちの可能性は何？

- ☐ ②のまちの強みにはどんな可能性がある？
- ☐ ③のまちの課題はどんなチャンスだと捉えることができる？

体験してもらいたいこと

⑦②と③から まちのなかで できる具体的な体験

- ☐ あなたのおすすめする地域の面白い体験
- ☐ あなたのおすすめする安心する地域の場所・体験
- ☐ あなたのおすすめする地域の人が真剣になる体験
- ☐ あなたのおすすめする他の場所では味わえない体験

⑧地域の大人を どのように 巻き込んでいきたい？

- ☐ 生徒に出会ってほしい人物はいますか？
- ☐ その大人はどんなことをすれば魅力化プロジェクトに興味を持ってくれますか？

おまけ：④よりあなたは生 徒とどう関わるのか？

ワーク①コンセプトを決めるための要素を考えてみよう！

高校魅力化プロジェクトへの想い		育みたい生徒像		体験してもらいたいこと	
①プロジェクトを 始めたきっかけ		⑤どんな生徒に きてもらいたいのか？		⑦②と③から まちのなかで できる具体的な体験	
②まちの強み・魅力				⑧地域の大人を どのように 巻き込んでいきたいか	
③まちの課題		⑥②と③から 生徒に提供できる まちの可能性は何？		おまけ：④よりあなたは生 徒とどう関わるのか？	
④プロジェクトへの 意気込み					

唐津の事例を入れる

ワーク②ストーリーで語ってみよう！

まちの概要	今回魅力化プロジェクトを始めようと思ったきっかけは「 ① 」です。 私の住んでいるまちは、「 ② 」が強みで、他にはない魅力的なところでは、 一方で、人口減少や高齢化などが進み「 ③ 」が深刻な課題となっています。
育みたい 生徒像	そんなまちに、私たちは「 ⑤ 」のような生徒に来てほしいと思っています。 私たちのまちでは「 ⑥ 」のような学びや体験をしてもらうことで、 地域外の生徒も、地域の内の生徒も通いたくなるような学校づくりを目指していきます。
具体的な 手段	実際には、わたしたちのまちでは「 ⑦ 」のような経験ができると思いますし、 地域のユニークな大人たちもたくさんいます。例えば「 ⑧ 」のような仕事をしたり、想いをもって行動して いる人たちがたくさんいます。
個人の想い	そして私も、「 ④ 」のような思いがあるため、生徒に「 おまけ 」のように関わりを持ちたいと考え ています。 そしてこういった教育を実現する寮のコンセプトは、、、「 」です！

魅力化プロジェクトを通じて、どんなことを実現していきたいのか。寮の生徒、また地域の生徒のことも想像しながら、
ストーリーを考えてみてください。できた人はコンセプトも考えてみましょう。

ワーク③コンセプトをつくろう！

高校魅力化プロジェクトへの想い

ワーク①に記載した想いをキーワード化すると？
(なぜ取り組むのか？)

育みたい生徒像

ワーク①に記載した想いをキーワード化すると？
(どんな生徒に育てて欲しいのか？)

体験してもらいたいこと

ワーク①に記載した想いをキーワード化すると？
(そのためにどんな価値を提供したいのか？)

コンセプト

-Concept-

**顧客に対して、どんな価値を提供しているのか？
を端的にまとめた言葉であり、方針・指針・メッセージ**

注意点①

14文字以内の言葉で表現できるものにしましょう！

注意点②

誰がみても意味がわかる言葉にしましょう！

注意点③

寮の機能や人材の配置がイメージできるまでじっくり考えてみましょう！

コンセプトは指針であり、今後の寮の基本設計においても重要なものになります。
複数名で考えても良いので、上記の注意点を守りながら、
議論をすることに意味があるのでぜひチャレンジしてみてください。

プロローグ

日本磁器発祥の地、佐賀県有田町。

400年の歴史を紡ぐ焼き物のまちに、“ありこや”があります。

熟練した職人の洗練された技術で焼き上げる器。

その色鮮やかな絵付け、紋様には意味が込められています。

地域の特色や強み

人は器から水が溢れた分だけ優しくなれるという話があります。

有田町で過ごす3年間。

あなたの器が多くのもので満ち溢れますように。

あなたらしい、あなただけの色を帯びますように。

生徒にどんな体験をしてほしいのか
どう育てて欲しいのか

About ありこや

ありこやは、県外から佐賀県立有田工業高校に進学する生徒たちが暮らす家です。

「地域みらい留学」として、生徒の全国募集を行っている有田工業高校。

セラミックやデザインを学びに毎年県外から生徒が入学しています。

学べるテーマや
他の地域にはない特色

そんな有田工業高校。

地域の方々からは、親しみを込めて有工（ありこう）という愛称で呼ばれています。

有工の子たちが暮らす家。“ありこや”と名付けました。

ありこやに込めた思い

ありこやに込めた、色んな意味。

ありこや

- ・ 個
- ・ (共に行うを意味する)co

- ・ (思いが) 在る
- ・ (私たちが) 存在する

- ・ (安心できる) 家・屋

- ・ (何かをつくりだす) 小屋

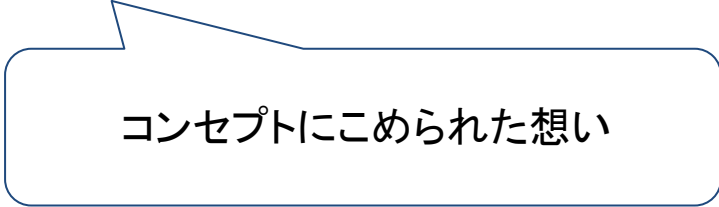
大切にしたいこと「やってみゅー」

やってみゅーは、佐賀の方言で「やってみるわ」「一緒にする？」という2つの意味があります。
ちょっとやってみようかな、と何かをはじめるときも、
じゃあ一緒にやってみる？とだれかに声をかけるときにも使える不思議な言葉。

遊ぶように気楽な気持ちで、
面白いことをしたくて、
愉快的企みで、はじめてみる。

だれかを応援する気持ちで、
ちょこっと気にかけてたり、
陽気なおせっかいで、一緒にはじめてみる。

「やってみゅー」を合言葉に、
なにかが“はじまる”瞬間を大切に。



コンセプトにこめられた思い

ありこや、こんな場所です

有田ならではの暮らしを

この町で出会う有田焼。この土地に根ざした文化と伝統、人々の生き方の中で暮らす。

有田の豊かな自然を

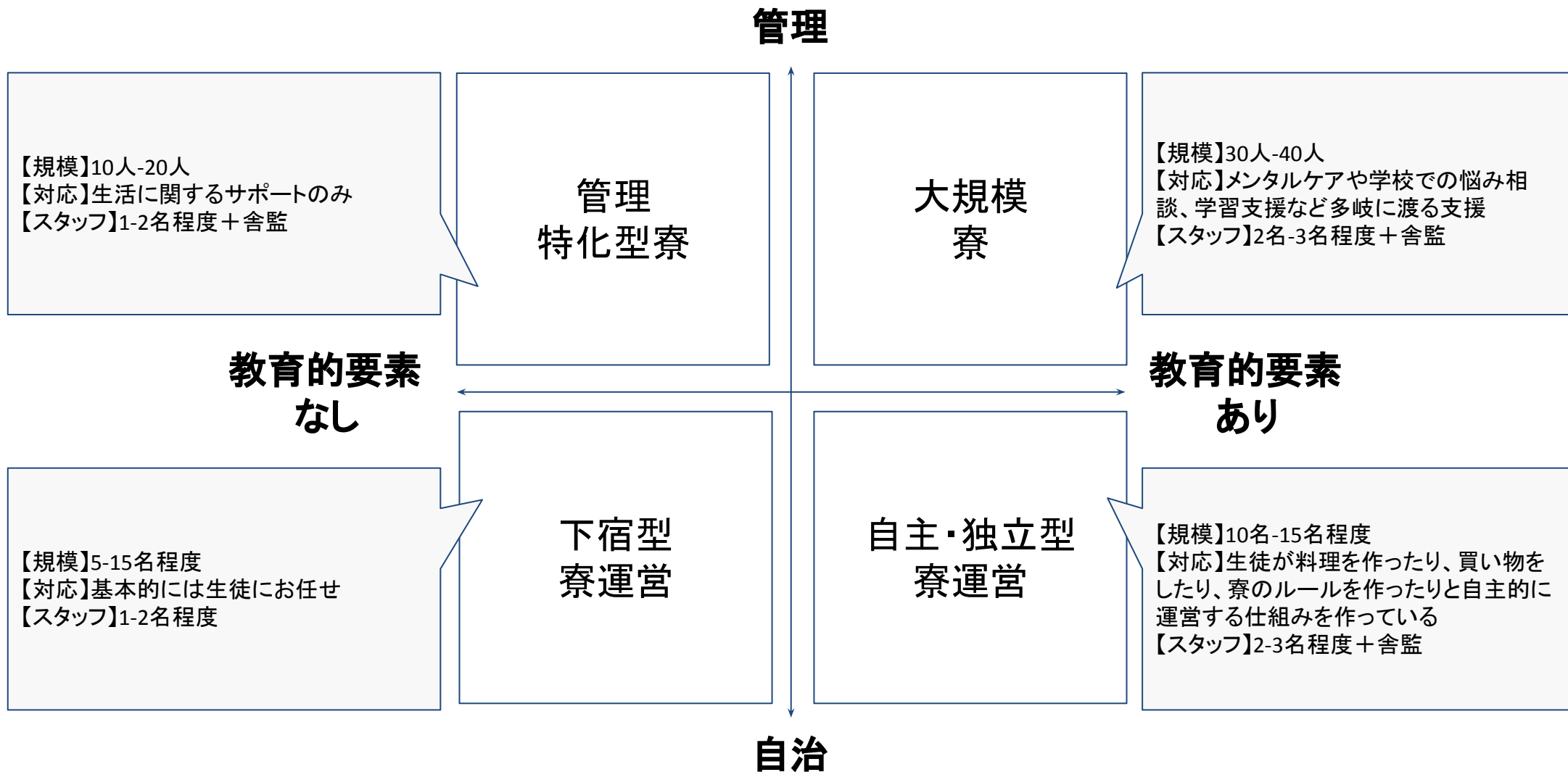
有田の焼き物を支えてきたのは原料となる石や水、燃料となる木。この町の豊かな自然に包まれて暮らす。

有田の人々の営みを

美しい磁器が出来上がるまでに数多くの工程を経る有田焼。人と人の中での暮らし。

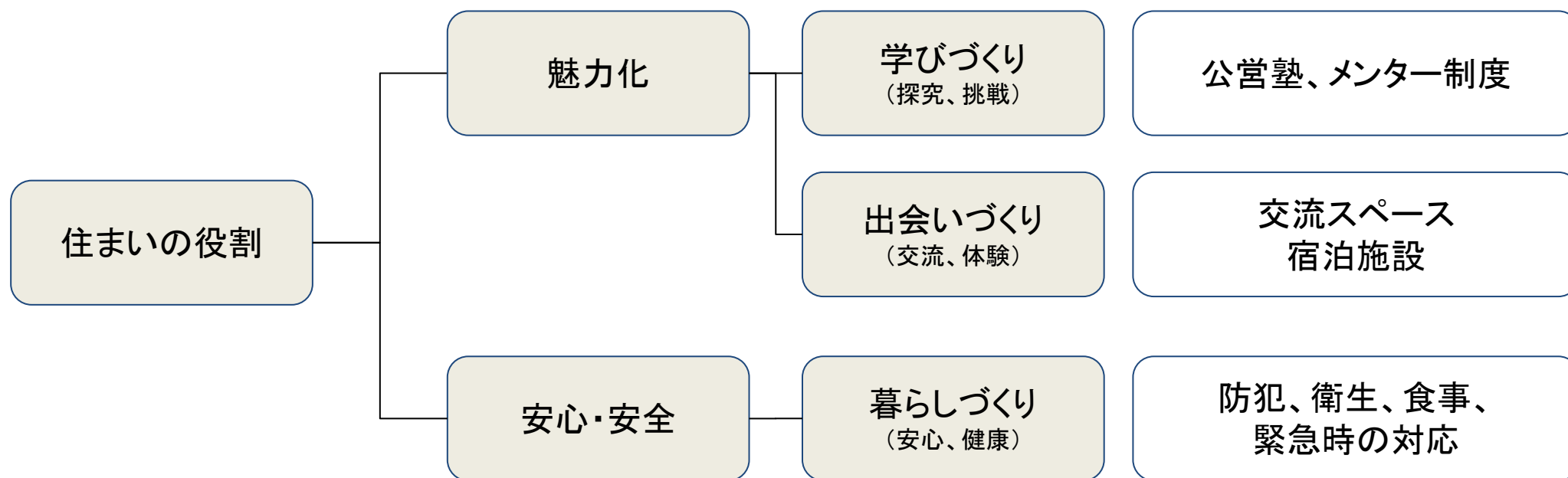


寮の機能の設計

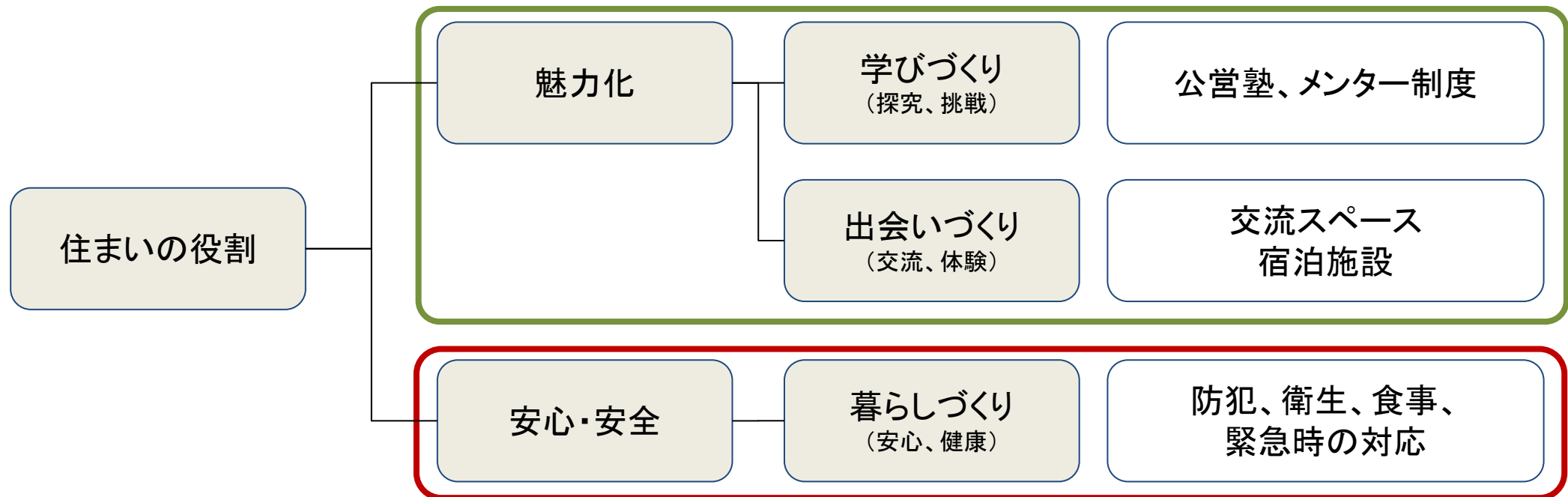


自分たちのコンセプトを実現するには、4種類のうちのどの寮が適しているか選んでみましょう。

住まいには「安心・安全」「魅力化」の2つの役割があります。
寮の役割は、さらに「学びづくり」「出会いづくり」「暮らしづくり」の3つの機能に分かれます。
まずは、整備する寮に「どの機能をもたせるか？」を考えます。



赤色(安心・安全)の部分が整えば、生徒を受け入れることができます。
緑色(魅力化)の部分は、赤色を整えて運営をはじめた後に、追加で整備することも可能です。



ワーク④各機能にどんな要素が必要かアイデアを出してみよう！

暮らしづくり

できたらいいなと思うこと

10個

学びづくり

できたらいいなと思うこと

10個

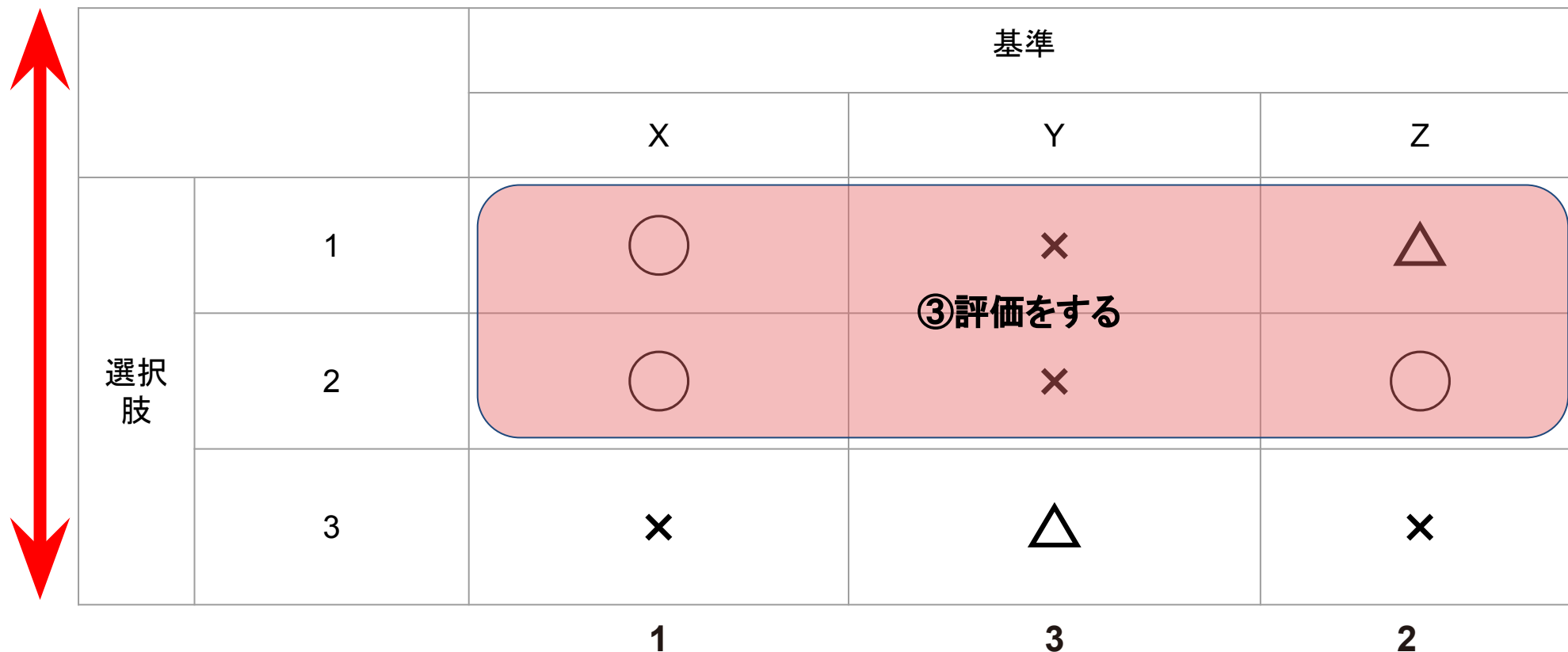
出会いづくり

できたらいいなと思うこと

10個

①「選択肢」
を広げる

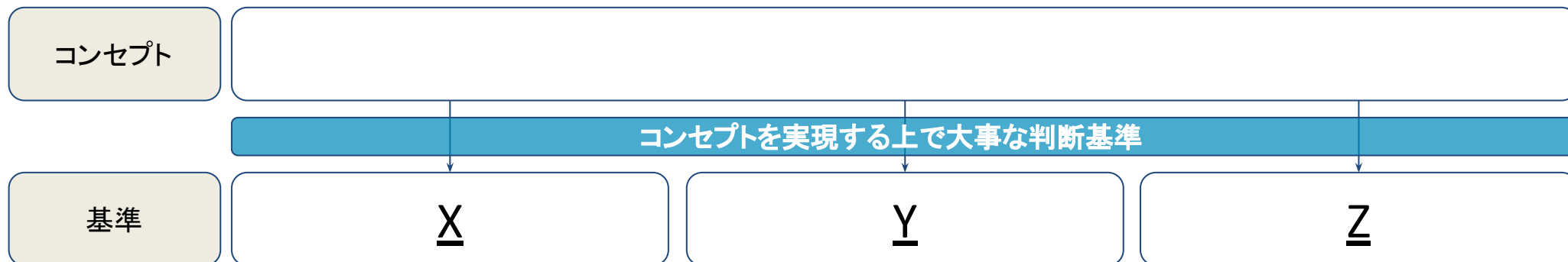
②「基準」の優先度を決める



		基準		
		X	Y	Z
選択肢	1	○	×	△
	2	○	×	○
	3	×	△	×
		1	3	2

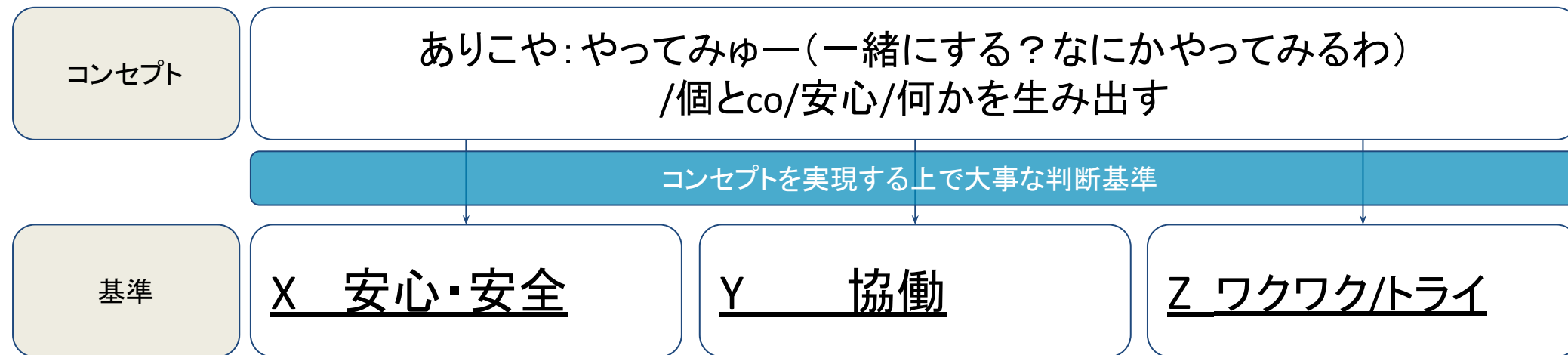
「基準」の優先度を決めるときは、冒頭に決めた「コンセプト」から考えて優先すべき事項を考えてみましょう！

ワーク⑤判断基準を軸に、10個のアイデアから実装する機能を選ぼう！



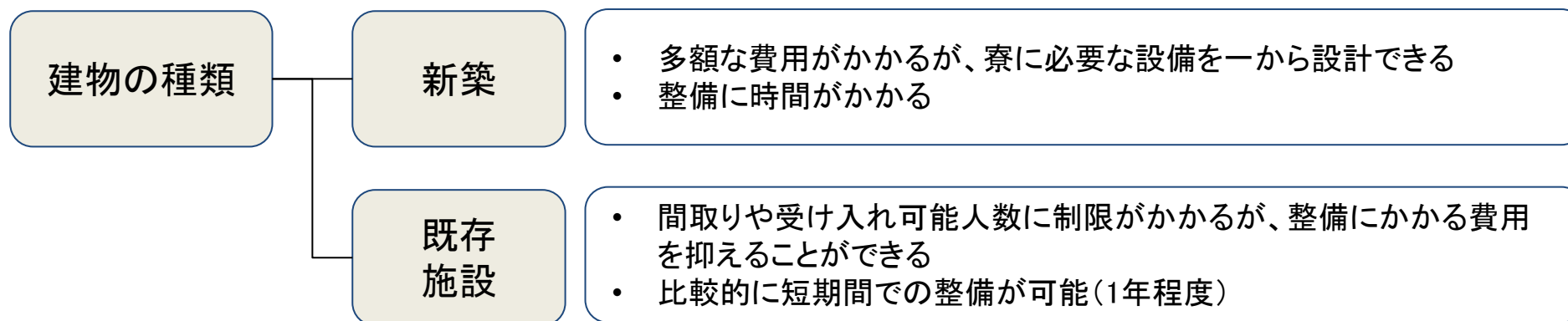
ワーク①で書き出したもの	X(基準1)	Y(基準2)	Z(基準3)
1	○・△・×	○・△・×	○・△・×
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

ワーク⑤判断基準を軸に、10個のアイデアから実装する機能を選ぼう！（例）

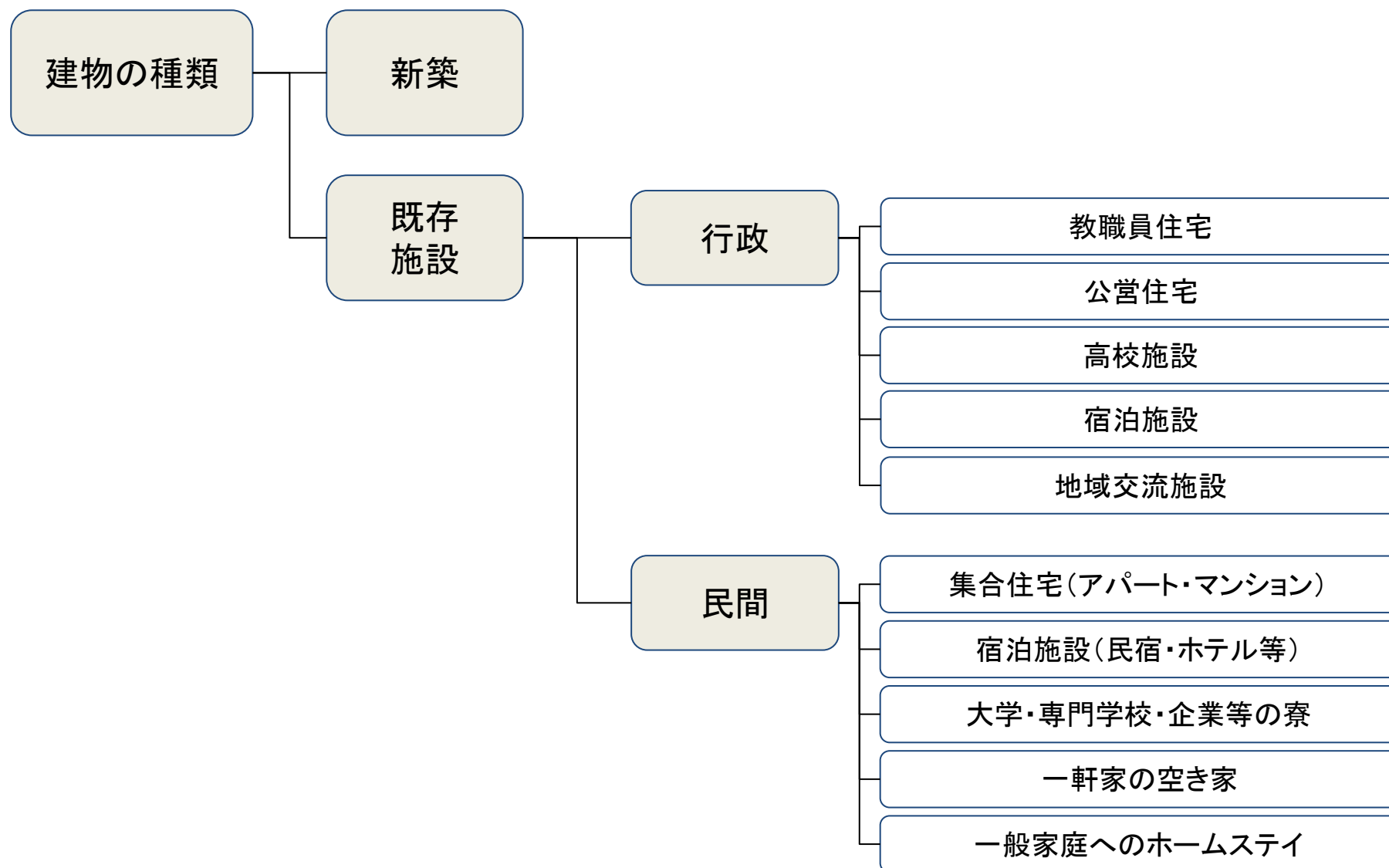


○ 当てはまる △ どちらかといえば当てはまる × 当てはまらない		基準		
		X 安心・安全	Y 協働	Z ワクワク/トライ
選択肢	1 ※ワーク④より抜粋 寮生と地域の人の食事会	○	○	△
	2 ※ワーク④より抜粋 地域の神社の清掃	△	○	△
	3 ※ワーク④より抜粋 有田焼の絵付け体験	△	○	○

では、生徒の住まい整備に活用できる建物はどんなものがあるでしょうか。
住まいの整備は、新築と既存施設の活用の場合に分けることができます。



地域みらい留学を受け入れている自治体・高校では、既存施設を活用している場合も多くあります。





鹿追高校
(旧教職員住宅)



長浜高校
(アパート)



阿賀黎明高校
(宿泊施設)



有田工業高校
(一軒家の空き家)



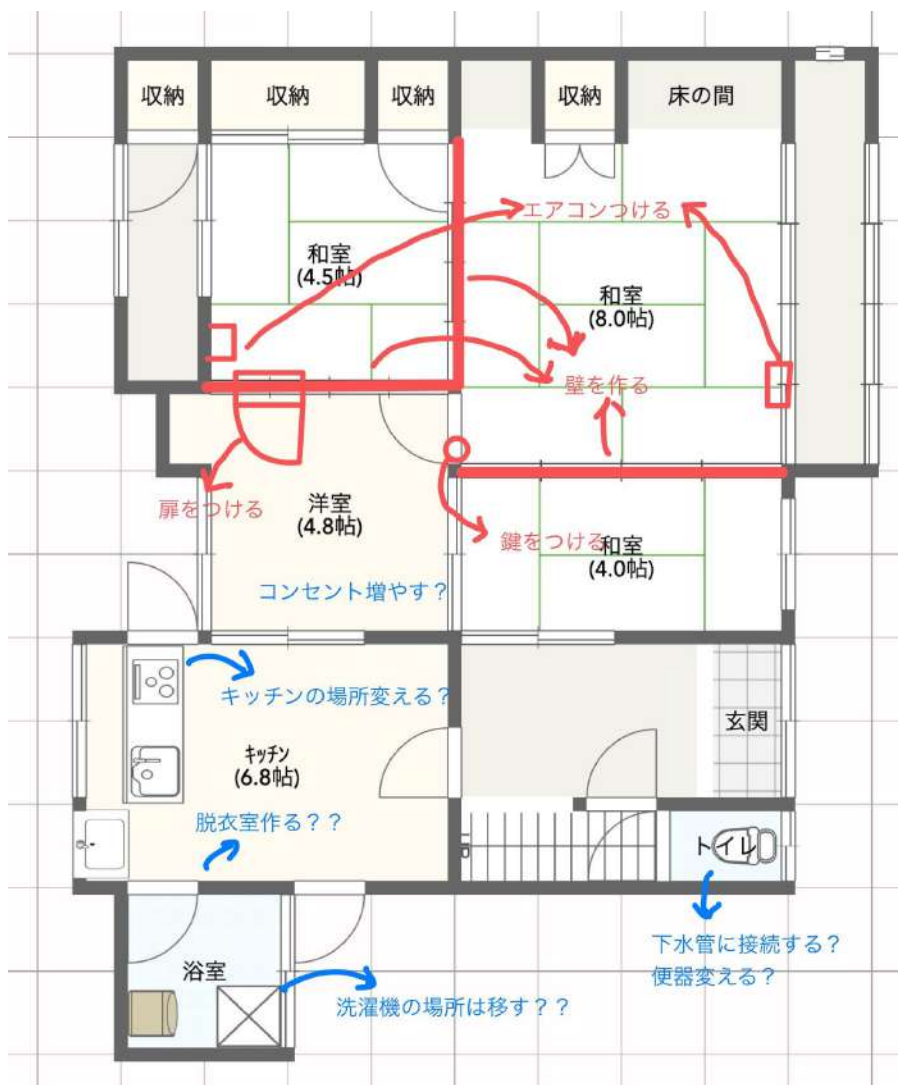
大槌高校
(民宿)



＜物件選定の基準＞

- ・学校までの距離は適切か
- ・周辺の施設（病院、スーパーなど）は最低限足りているか
- ・建物構造部に大きな修繕は不要か
- ・地域の理解は得られるか
- ・価格は妥当か など





＜図面作成の目的＞

関係者同士で、設備に関する思い違いを防ぐため

＜図面作成の注意点＞

・工事発注を意識して、①大工工事、②電気工事、③設備工事、④ガス工事、⑤内装工事、⑥エアコン工事を区別しながら考える

・発注業者が図面を作ってくれるが、発注業者と意思疎通を図るためにも自分たちでまずは図面を書いてみた方が良い場合がある。

(利用サイト: [マイホームクラウド](https://myhomecloud.jp/))

- 備品(1年以上使用するもの)、消耗品(1年未満で使い切るもの)という定義で整理
- 寮が整備する範囲を決めておく(例:寮の備品以外を希望する場合は、個人が準備する)など、備品・消耗品への要望をどこまで受けるか明確にすることがポイントです。

分類	内容
備品(個室)	<p><家具>ベッドフレーム、机、椅子、棚、衣装かけ、カーテン</p> <p><家電>照明、エアコン</p>
備品(共用部)	<p><家具>ダイニングテーブル、ダイニング椅子、キッチン棚、洗濯物干し、カーテン、タオル掛け</p> <p><家電>ダイニング照明、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、IHコンロ、電子レンジ、トースター、炊飯器、電気ポット、掃除機、時計、無線ルーター</p> <p><調理器具>フライパン、鍋、包丁、まな板、フライ返し、おたま、菜箸、はし、カトラリー一式</p> <p><清掃道具>ゴミ箱、トイレブラシ、風呂掃除ブラシ、フローリングワイパー本体</p> <p><安全>防犯カメラ、玄関ライト、消化器、救急箱、常備薬、防災リュック</p>
消耗品(共用部)	<p>共用部</p> <p><衛生>トイレトーパー</p> <p><調理>ラップ、アルミホイル</p> <p><食材>米、調味料</p> <p><清掃>ゴミ袋、トイレ用洗剤、お風呂用洗剤、食器用洗剤、フローリングワイパー紙、食器洗い用スポンジ、布巾・雑巾</p> <p><衛生>手洗い用石鹸</p> <p><その他>殺虫剤、電球、電池</p>

集合住宅の活用事例:愛媛県立長浜高等学校(大洲市)



項目	内容
居住形態	民間のアパートを借りてのシェアハウス
運営主体	民間所有の建物(3LDK、2LDKのアパートを借りてシェアハウス)
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・住居費は市からの支援により(0円～6000円)※物件によって異なる ・光熱費実費負担 ・食費 <ul style="list-style-type: none"> ↳朝食自炊or購入実費負担 ↳昼食パン販売(1個100円)or弁当注文(1個450円) ↳平日夕食のみ地元飲食店で提供: 11,000円/月
通学時間	7拠点それぞれ:徒歩5分～徒歩20分(自転車10分)
暮らしのサポート	—
市町からの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家具、家電の整備 <ul style="list-style-type: none"> ↳共用部分:洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、調理器、照明等 ↳単独部分:エアコン、照明等 ・家賃補助 <ul style="list-style-type: none"> ↳3万円/戸を上限として補助(ただし、補助対象経費の月額が3万円に満たない場合には、当該経費を越えない額) ・生徒に対して入学支度金あり ・長浜エリアの43店舗が長浜高校生に適用されるサービスを提供
詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・アパートを借りてシェアハウス形式、7拠点 ・1部屋に3～4名の生徒がシェアハウス ・男女別/個室タイプ ・リビング、台所、風呂場、洗濯機は共用

空き家の活用事例：山形県立遊佐高等学校（遊佐町）



項目	内容
居住形態	寮（空き家をリフォームした寮運営）
寮整備	260万円程度/棟でリフォームを実施。 ・個室になるように扉改修（鍵付き）、エアコンをつける ・水回りの整備 ・洗濯機、乾燥機の設置 ・キッチン周りの備品（電子レンジ、トースター、その他料理器具）の設置
運営主体	民間所有の建物。運営主体は遊佐町役場（企画課企画係）。
費用	・住居費：月4万円（食費、光熱水費込み） ↳食事：朝夕提供、平日昼食は弁当注文
通学時間	徒歩15分圏内
暮らしのサポート	・生活相談員（朝食・夕食の調理、夜間監護） ・ハウスマスター（生徒の心身のケア、休日イベントの対応、車での送迎、学校・保護者とのコミュニケーション等）
市町からの支援	・家具、家電の整備 ↳共用部分：洗濯機、乾燥機、冷蔵庫、電子レンジ、調理器、照明等 ↳単独部分：エアコン、照明等 ・医療費高校3年生まで全額補助 ・高校授業料（月額9,900円）は保護者の所得により国の減免が受けられなかった場合半額助成 ・帰省時の交通費を助成（1回あたり上限50,000円、年4回（GW、夏休み、冬休み、春休み））
詳細	・改修した空き家5棟に分かれて県外生が居住 ・1棟に3～4名の生徒がシェアハウス ・男女別/個室タイプ ・リビング、台所、風呂場、洗濯機は共用 ・食事は生活相談員（寮母さん）が調理

Case2

ある地域では、地域に社会人寮の運営をしている会社があったためプロポーザルを実施し、会社を選定しました。無事、その会社にも決まり、運営を任せて3ヶ月ほど。退寮者が続出し、保護者からのクレームが担当課に届くほどに。

寮を担当している会社と会議をすると、、、

「思った以上に、メンタル不調を起こす生徒が多く、2名で想定していたスタッフもシフトが回らず、こまめなケアができない状態でした。また生徒のメンタルの問題については、弊社では事例がなく、関与が難しく一旦寮の部屋で安静にしておくように伝えていたのですが、保護者から連絡があり退寮することになったのです。」

当初想定していた稼働以上の工数がかかり、通常の寮の運営ノウハウでは対応できない事案が発生しました。

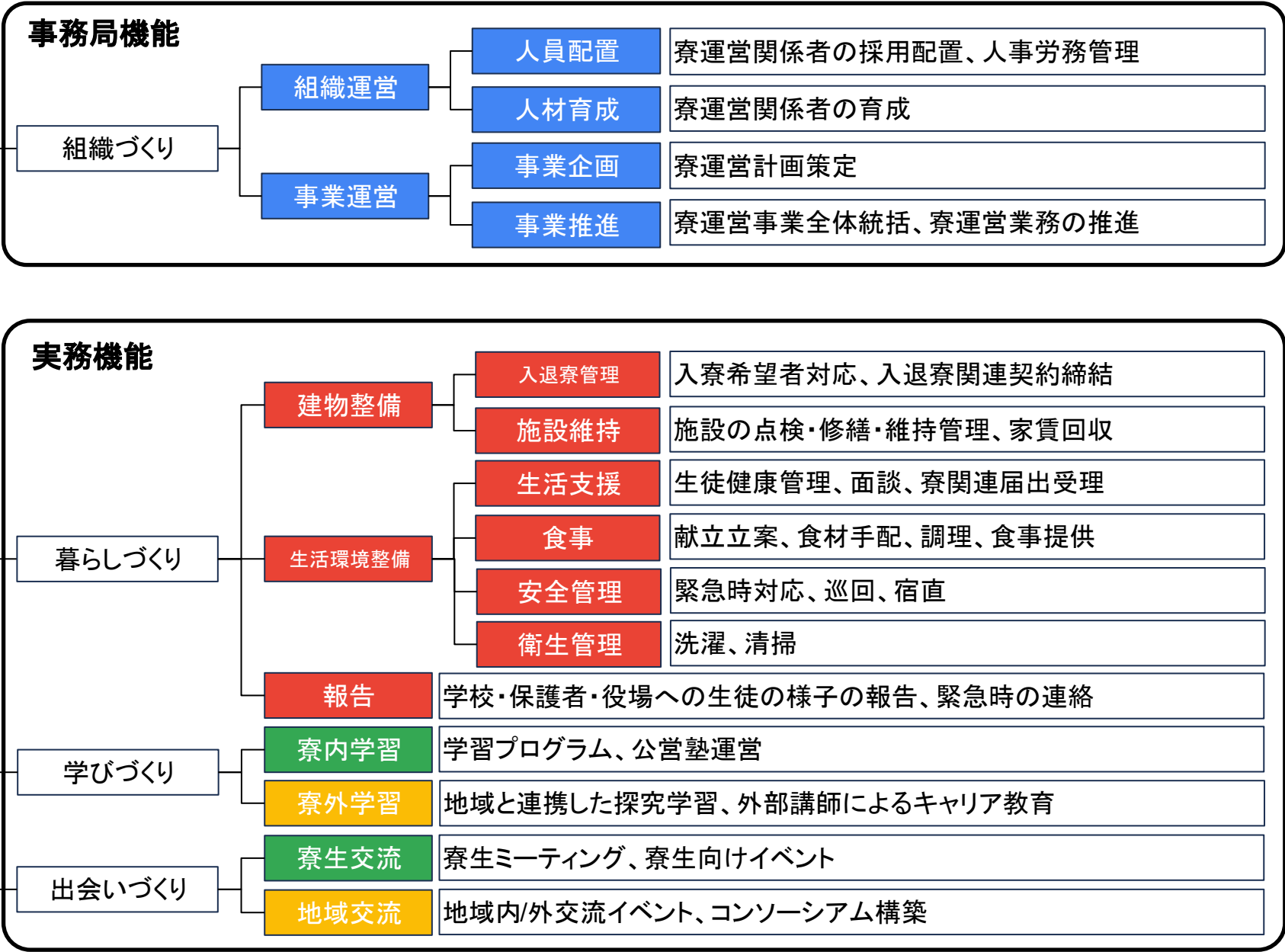
このようなケースを解消するためにはどんなことをすれば良いのでしょうか？

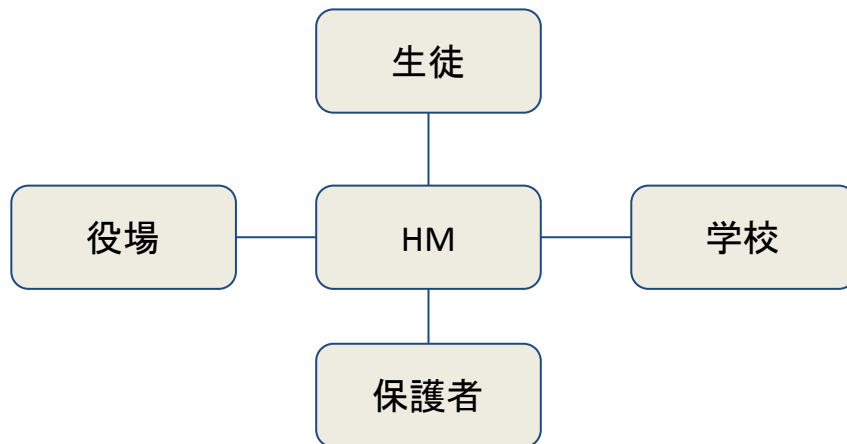
寮運営にかかる業務一覧

各業務の特性を
4色に色分け

- 進行・統括
- 管理
- 連携
- 自治

寮運営





■ハウスマスターの役割

生徒の健康・生活の見守り

日々の体調確認や定期面談を通して、生徒の心身の状態を把握・サポートします。

関係機関との連携

学校や自治体、保護者との連絡調整を行い、生徒の状況を共有します。

イベントの企画・運営

寮生活を豊かにするための季節行事やレクリエーションの企画・実施を担います。

地域との橋渡し役

生徒が地域の人々や活動とつながる機会をつくり、地域に溶け込むサポートをします。

緊急対応・保護者連絡

ケガや急病などの際には迅速に対応し、必要に応じて関係者への連絡も行います。

寮施設の維持・管理

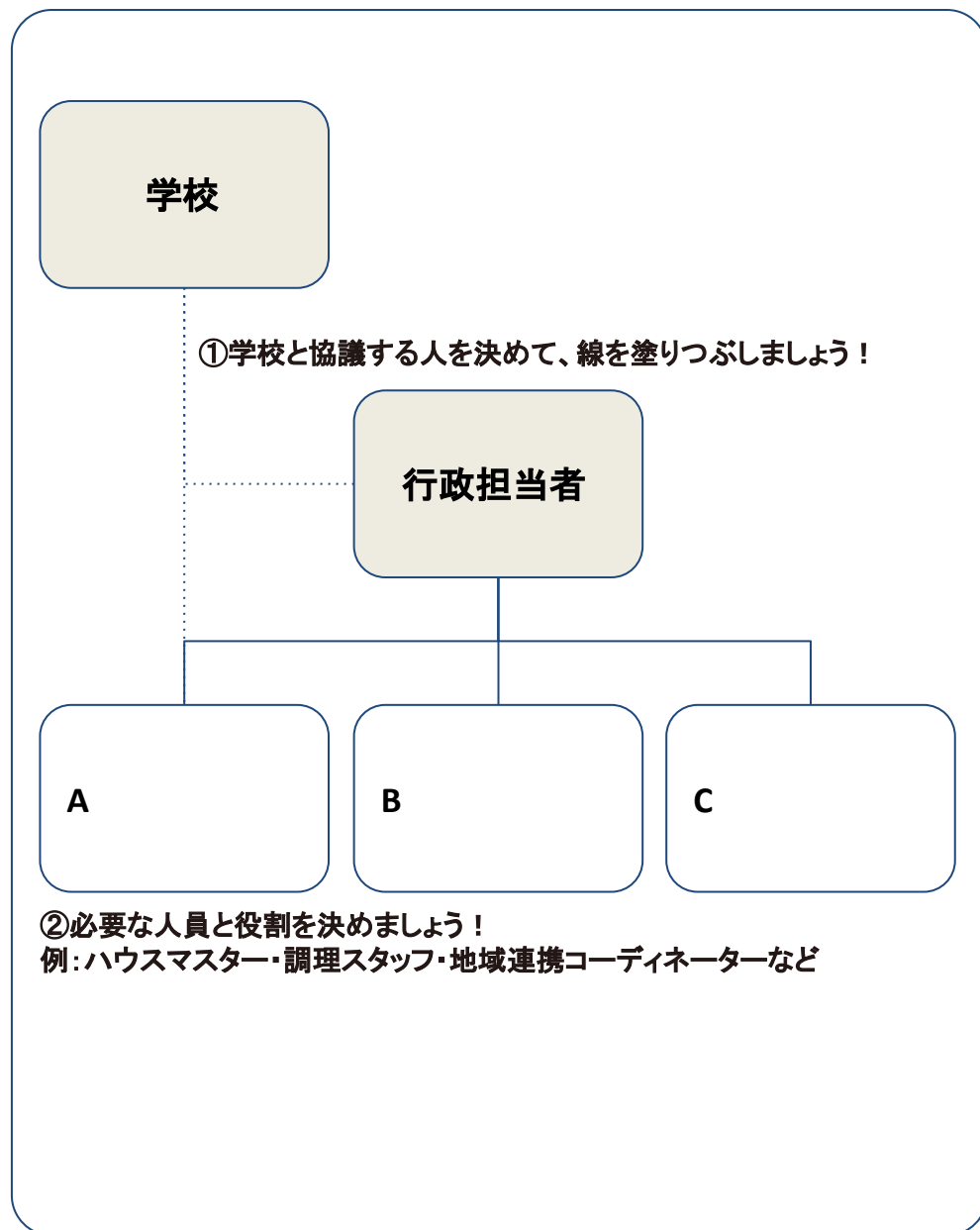
建物や設備の点検、備品の補充や必要な修繕の対応を行います。

保護者と接点を持つことが多いため、クレーム対応の窓口になってしまうこともあるため、ハウスマスターだけで対応するのではなく、チームで対応することが持続可能性を高める一歩

ワーク⑥役割分担

機能		対象	やること	内容	役場	学校	HM	その他
事務局機能	組織づくり	組織運営	人員配置	寮運営関係者の採用配置、人事労務管理				
			人材育成	寮運営関係者の育成				
		事業運営	事業企画	寮運営計画策定				
			事業推進	寮運営事業全体統括、寮運営業務の推進				
実務機能	暮らしづくり	建物整備	入退寮管理	入寮希望者対応、入退寮関連契約締結				
			施設維持	施設の点検・修繕・維持管理、家賃回収				
		生活環境整備	生活支援	生徒健康管理、面談、寮関連届出受理				
			食事	献立立案、食材手配、調理、食事提供				
			安全管理	緊急時対応、巡回、宿直				
			衛生管理	洗濯、清掃				
		報告		学校・保護者・役場への生徒の様子の報告、緊急時の連絡				
	学びづくり	寮内学習		学習プログラム、公営塾運営				
		寮外学習		地域と連携した探究学習、外部講師によるキャリア教育				
	出会いづくり	寮生交流		寮生ミーティング、寮生向けイベント				
		地域交流		地域内/外交流イベント、コンソーシアム構築				

ワーク⑦体制図と採用方法を決めよう！



	A	B	C
必要なスキル			
必要な経験			
活用する制度 (例：地域おこし協力隊)			
採用する媒体 (どうやって集めるか)			
訴求ポイント (何を伝えるか)			

寮運営に関する財源

①ソフト
(人件費など)

②ハード
(改修費など)

①ソフト面に活用できそうな制度

地域おこし協力隊

集落支援員

地域プロジェクト
マネージャー

活性化企業人

概要・条件

・地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね 1年から3年です。

・地域おこし協力隊は地方自治体が自主的・主体的に取り組むものですが、特別交付税による財政措置の対象については、地域おこし協力隊推進要綱において「生活の拠点を3大都市圏をはじめとする都市地域等から過疎、山村、離島、半島等の地域に移し、住民票を移動させた者」という一定の地域要件が設けられています。

補助率/上限

①地域おこし協力隊員の活動に要する経費: 隊員1人あたり **400 万円上限**

・報償費等 200 万円[※]

・その他の経費(活動旅費、作業道具等の消耗品費、関係者間の調整などに要する事務的な経費、定住に向けた研修等の経費など) 200 万円

※地域協力活動に不可欠であり専門性の高いスキルや経験を有する隊員又は辺地等の著しく交通条件等の悪い不便な地域における地域協力活動に

従事する隊員については、報償費等について 250 万円を上限とする。この場合においても、地域おこし協力隊員1人あたり 400 万円を上限とする。

②地域おこし協力隊員等の起業・事業承継に要する経費: 終年次又は任期終了翌年の起業する者又は事業を引き継ぐ者1人あたり **100 万円上限**

③ー1地域おこし協力隊員の募集等に要する経費: 1自治体あたり **200 万円上限**

③ー2「おためし地域おこし協力隊」に要する経費: 1自治体あたり **100 万円上限** (平成 31 年度から)

概要・条件

- ・地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施
- ・地方自治体⇒集落支援員を設置し、集落支援員と協力して集落対策を推進

補助率/上限

- ・総務省⇒地方自治体に対して、財源手当(支援員一人あたり**350万円**(他の業務との兼任の場合一人当たり**40万円**)を上限に特別交付税措置)、情報提供等により支援

※特別交付税の対象経費・・・集落支援員の設置に要する経費・集落点検の実施に要する経費・集落における話し合いの実施に要する経費

※この対策は、過疎地域に所在する集落や、高齢者比率が一定以上の集落など特定の集落に限定していない。(参考)総務省通知(平成20年8月1日総行過第95号)

概要

- ・地方公共団体が重要プロジェクトを実施する際には、外部専門人材、地域、行政、民間などが連携して取り組むことが不可欠。そこで、市町村が、関係者間を橋渡ししつつプロジェクトをマネジメントできる「ブリッジ人材」について、「地域プロジェクトマネージャー」として任用する制度を令和3年度に創設。
- ・令和5年度には、88市町村において91名の地域プロジェクトマネージャーが活躍。

条件

- ・3大都市圏内又は3大都市圏外都市地域から、条件不利地域へ住民票を異動(地域おこし協力隊と同様)
- ・ただし、現地在住の地域おこし協力隊経験者や地域活性化起業人経験者を任用する場合には移住は求めない

補助率/上限

- ・地域プロジェクトマネージャーの報酬費等を対象に、**650万円/人**を上限に特別交付税措置・1市町村あたり2人、1人あたり3年間を上限

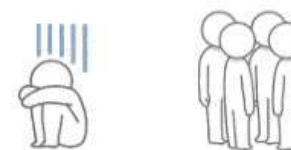
イメージ

★ブリッジ人材が不在だと...

- ・コミュニケーション不足から混乱が生じ、関係者がお互いに不信感



- ・せっかく外部専門人材を招へいできて孤立



⇒プロジェクトの実があがらない状態に

★地域プロマネ任用により...

- ・多様な関係者間を調整、橋渡し



- ・チームとしてプロジェクトを推進



⇒プロジェクトを着実に
成果へつなげる!

概要

三大都市圏に所在する企業と地方圏の地方自治体が、協定書に基づき、社員を地方自治体に一定期間(6か月から3年)派遣し、地方自治体が取組む地域課題に対し、社員の専門的なノウハウや知見を活かしながら即戦力人材として業務に従事することで、地域活性化を図る取組

条件

- ①3大都市圏外の市町村
- ②3大都市圏内の市町村のうち、条件不利地域を有する市町村、定住自立圏に取組む市町村及び人口減少率が高い市町村

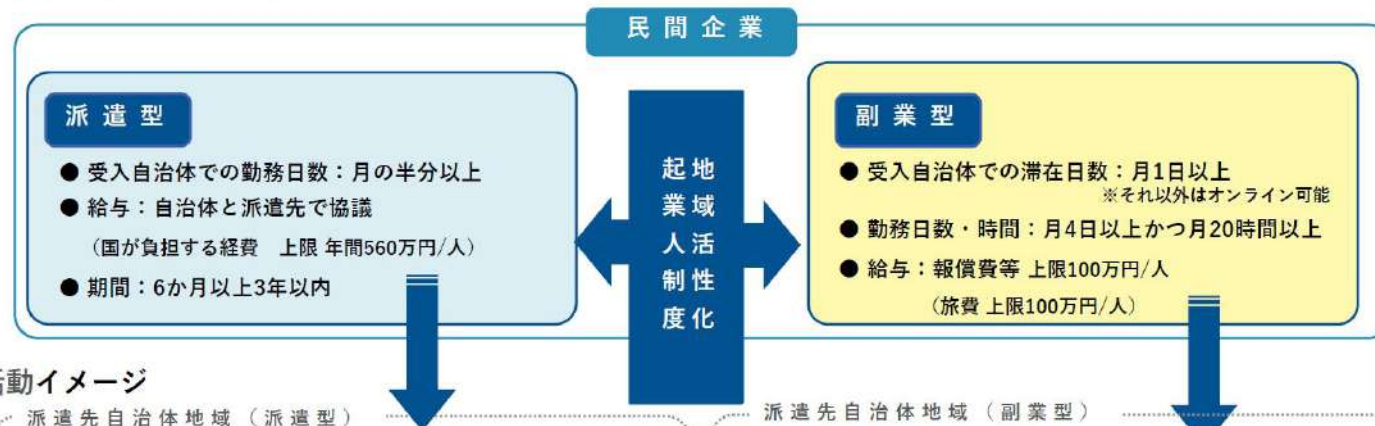
補助率/上限

- (1)派遣期間中の社員の給与等に係る経費
(※)については、原則、地方自治体が負担
- (2)地方自治体が負担する派遣期間中の社員の給与等に係る経費については国が支援

上限額 年間560万円/人等

※派遣期間中の社員の給与等に係る経費については、企業と自治体の協定により決定することとなる。

働き方のモデル (2タイプ) ※財源は地域活性化起業人(派遣型または副業型)を想定



活動イメージ

派遣先自治体地域(派遣型)



月の半分以上、現地に滞在するなかで、地域の魅力を感じながら課題を把握し、解決に向けて現場メンバーとプロジェクトに取り組みます。



派遣先自治体地域(副業型)



受入自治体の担当者等と連携しながら、主にオンラインを通じてプロジェクト設計や先生や生徒らのプロジェクトの伴走支援を行います。



②ハード面に活用できそうな制度

企業版ふるさと納税

**地方創生に向けて
“がんばる地域”
応援事業**

**移住・定住・交流推進
支援事業**

条件

- ・1回あたり10万円以上の寄附が対象
- ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受ける事は禁止
- ・本社が所在する地方公共団体への寄附については、本制度の対象とならない
- ・地方交付税の不交付団体である自治体と地方交付税の不交付団体であり、地方拠点強化税制における地方活力向上地域以外の地域に存する市区町村*

*首都圏整備法で定める既成市街地・近郊整備地帯など

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
 - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
 - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
- 寄附企業への経済的な見返りは禁止
- 寄附額は事業費の範囲内とすることが必要

※ 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村は対象外。
※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。



例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減。

- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

活用の流れ

①地方公共団体が
地方版総合戦略を策定



②①の地方版総合戦略を
基に、地方公共団体が
地域再生計画を作成



④寄附

企業

⑤税額控除

企業が所在する自治体
(法人住民税・法人事業税)



◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数:46道府県676市町村(令和2年度第2回認定後)

企業版ふるさと納税を活用している参画校

鹿児島県西之表市（種子島）



高等学校魅力化支援事業

- ・市内唯一の高校である「種子島高校」の魅力化を図り、生徒数の増加・本市への就業へとつなげることを目的としています。
- ・検定料、通学に係る費用（バイク、バス）、下宿代等の費用の一部補助を実施しているほか、地域みらい留学に参画し、島外からの生徒受入れのための寮整備に取り組んでいます。
- ・学業や部活動、資格取得などに頑張る島の子どもたちにご支援くださる企業様を求めています。



人材確保対策事業

- ・不足する労働力確保と移住定住策として、Uターン者や市内在住者の労働力確保と就労のきっかけづくりとして、「人材確保対策事業」を実施しています。
- ・特に不足している医療・介護・子育て・障害福祉・農林水産業分野に就労した方に対して奨励金の支給や家賃補助（Uターン者）を実施し、その他の産業分野に就労した方に対しても奨励金の支給を行っています。
- ・離島の人材確保にご協力いただける企業様を求めています。



高等教育機関等活用事業

- ・看護学校サテライト教室を設置し、島で働く看護師育成と定着を目指しています。
- ・看護師不足の課題解決のため、看護学校サテライト教室の設置を検討しています。西之表市に住みながら鹿児島市の看護専門学校の座学をオンラインで受講し、実習等は地元医療機関等で実施する方法で令和8年4月開校を目指しています。
- ・離島では初めての取組で、実現すれば離島の人材確保策としてモデルケースとなる可能性を秘めています。
- ・離島の医療体制充実を目指し、本事業にご協力いただける企業様を求めています。

鹿児島県 喜界町

☆サンゴ留学プロジェクト☆



本町には、日本で唯一のサンゴ礁科学研究所があり、喜界島のサンゴを求め世界中から研究者、大学生、観光客が訪れています。本プロジェクトは、島外出身者が喜界高校で3年間通いながら、サンゴ礁・歴史・文化・環境等の興味のある分野を学ぶための環境整備等を行うプロジェクトです。教育関連に知見をお持ちの企業様、ぜひ本庁の取り組みをご支援いただけませんか。

◎喜界島の未来へ！なんでも叶えるポケットプロジェクト◎

離島なため、教育やスポーツ・文化・芸術などにおいて子供たちが本物に触れる機会が少なく、子供たちの可能性を後押しできていない。本物に触れる機会を提供し、自身のキャリア形成の一助とすると共に、将来の地域や社会の担い手として大きく成長してもらうことを目的としたプロジェクトです。



【!!!!お問合せはこちらまで!!!!】

喜界町役場 企画観光課

電話番号：0997-65-3682

メールアドレス：sosei-1@town.kikai.lg.jp

地方創生に向けて "がんばる地域" 応援事業(地域活性化センターより)

概要

・「地方創生」に向けて、市町村または地域団体等が自主的・主体的に実施する自治体・地域・集落の消滅可能性の危機打開等に向けた事業に対し支援するもの

助成金

・助成金の上限は以下のとおりとし、助成の対象となる経費の100%以内とします。

ア 地方創生人材育成伴走型支援事業 1,500千円

イ 地域経済循環分析事業 2,000千円

ウ 一般事業 1,500千円



【採択例一部抜粋】

12	山形県	庄内町	若者交流拠点「MATCH—BA(まちば)」創造事業	ウ 一般事業	庄内町	様々な観点や目的をもって「若者」同志が交流する場所、ビジネスマッチングの支援、交流から生まれる将来的な「つながり」づくりを進めることなどにより、仕事の創造、地域への愛着等が形成され、もって活力ある地域づくりに資することを目的とする。	町有施設である新産業創造館クラスセに若者交流拠点として「MATCH—BA(まちば)」を設置するとともに、事業企画及び運営に関して、「コーディネーター」を配置し、各種事業を展開する。 主な事業等の計画は次のとおり。 ① コワーキングスペースの設置 ② 創業等支援:専門家相談会や創業セミナーを定期的に開催。 ③ 交流型イベントの開催:中心市街地や駅前の賑わいを創出するイベントを開催。 ④ チャレンジ食堂の場の提供	1,500
25	和歌山県	日高川町	「民泊体験のまち・ひだか」創生事業 ～地域の未来を担う若者を地域が育てる～	ウ 一般事業	御坊日高教育旅行誘致協議会	大規模人数の民泊体験を受け入れる体制を整備し、教育旅行をはじめとした体験型旅行の誘致を推進し、都市部や海外からの交流人口及び関係人口を拡大させる。また、当地方の子供たちのふるさとへの愛着と誇りを育み、将来、若者の地域への定住・定着につなげるため、当地方の未来を支える人材育成に取り組む。これにより地域住民と行政との協働による地域づくりを進め、地方創生を実現させる。	①民泊体験会の開催 地元の小学生を対象にした、自然、歴史文化、産業などの地域資源を活用した体験及び民泊体験イベント ②事後発表会の開催 民泊体験会に小学生が、地域住民の聴衆の前で、当会で学んだ地域の魅力を発表	1,500

移住・定住・交流推進支援事業(地域活性化センターより)

概要

- ・地方が都市住民等を受け入れる移住や交流人口の増加等につながる地域交流の推進により、地域を活性化することを目的として、市町村等または地域団体等が自主的・主体的に実施する、移住・定住・交流を推進する事業に対し支援するもの

助成金

- ・助成金は200万円を上限とし、助成の対象となる経費の100%を上限



【採択例一部抜粋】

16	長野県	箕輪町	「ほとほとの田舎暮らし」魅力発信プロジェクト	箕輪町	・移住促進パンフレット等の活用や県外移住イベント参加による魅力発信を行う。 ・移住体験住宅の活用や移住体験ツアーを通して実際に町に足を運び、地域住民との交流から移住定住に向けての入り口の強化を図る。	○移住促進パンフレット、ノベルティの作成 ○東京及び大阪での大規模移住イベントへの出展(3回) ○定期オンラインセミナーの開催(10回) ○移住体験ツアー事業 ○移住体験施設の整備及び地域住民との交流事業	2,000
17	岐阜県	飛騨市	飛騨市のおんきな暮らし体験による移住定住促進プロジェクト	飛騨市	飛騨市での暮らしの魅力を全国にPRするとともに、移住検討者に対し個別の丁寧な相談体制を取ることで、市での暮らしを移住前にしっかりイメージして、確実に移住に繋げていくことを目的とする。	① 地域の文化や暮らしに精通した移住コンシェルジュの設置による寄り添い型相談支援体制の整備 ② 移住検討や引っ越し、雪国での備え等、飛騨市 独自の費用助成 ③ 移住者の住宅ローンの利子補給 ④ 移住専門雑誌への記事掲載 ⑤ 飛騨市での暮らしがイメージできる動画の製作	2,000
29	広島県	世羅町	古い建物に新しい“場”を生み出す―ヤドリギプロジェクト	一般社団法人ヤドリギ	今高野山通り(旧商店街)にある空き家を改修し、移住定住や関係人口創出等の拠点施設とする。空き家の利活用モデル事業だけでなく、地域の人や観光客、世羅町と関わるみんなが気軽に立ち寄れる場所づくりを目的とする。	○空き家を改修し、1階はシェア店舗、シェアキッチン、休憩スペースやマルシェの会場として利用する場及び空き家・空き地バンクの相談所とする。2階は会員制宿泊施設として利用する。 ○建物内の改修は専門業者に工事を依頼するだけでなく、空き家改修ワークショップによる参加型イベントを開催しながら当事業を進める。	2,000

③その他 活用できそうな制度

第2世代交付金

特別交付税措置

第2世代交付金 制度概要(内閣府)

- 地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押しする。

◆制度概要

- ① 地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域の独自の取組を支援

※地方版総合戦略に基づき、目指す将来像及び課題の設定等、KPI設定の適切性に加え、自立性、地域の多様な主体の参画等の要素を有する事業を支援。

- ② ソフト+ハードや分野間連携の事業を一体的に支援するとともに、国による伴走支援を強化

・ 申請の効率化を図る観点から、ハード・ソフトが一体となった事業も含め、一本の申請で受付。

- ③ 事業の検討・実施・検証の各段階において、地域の多様な主体が参画する仕組みの構築

・ 産官学金労言の参画による事業の進捗状況・効果測定を実施し、効果検証及び評価結果・改善方策の公表を義務化する。

◆評価基準

目指す将来像及び課題の設定

KPI設定の適切性

自立性

地域の多様な主体の参画

	事業計画期間	交付上限額・補助率
ソフト事業	原則 3 か年度以内 (最長 5 か年度)	1 自治体当たり国費 都道府県：15億円/年度 中枢中核：15億円/年度 市区町村：10億円/年度 補助率：1/2
拠点整備事業	原則 3 か年度以内 (最長 5 か年度)	1 自治体当たり国費 都道府県：15億円/年度 中枢中核：15億円/年度 市区町村：10億円/年度 補助率：1/2
インフラ整備事業	原則 5 か年度以内 (最長 7 か年度)	1 自治体当たり事業計画期間中の総国費 都道府県：50億円 (単年度目安10億円) 中枢中核：20億円 (単年度目安4億円) 市区町村：10億円 (単年度目安2億円) 補助率：1/2等 (各省庁の交付要綱に従う)

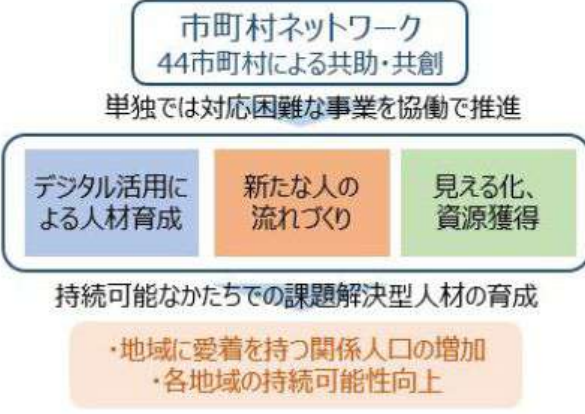
(注1) 拠点整備事業及びインフラ整備事業における単年度の交付上限額は目安とする。

(注2) 拠点整備事業の1事業当たりの事業計画期間における交付上限額(国費)について、都道府県・中枢中核都市は15億円、市区町村は10億円を目安とする。

(注3) 新規事業の通常の申請上限件数は、自治体の規模を問わず、10件とする。一定の条件を満たす事業については、通常の申請上限件数の枠外として、2件の申請を可能とする。

(注4) インフラ整備事業は、ソフト事業又は拠点整備事業との組み合わせを要件とする。

第2世代交付金 事業概要(内閣府)

申請者	山形県小国町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画 期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,789,420千円 (1,300,380千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事 業	事業分野	地方への人の流れ
目的 (効果)	<p>・全国の小規模市町村が広域に連携することで、地域・学校の壁を越えた学びの機会と人の流れを創出し、地域課題解決型の人財を育成する</p> <p>・さまざまな地域との交流を通じて、生徒達が「複眼的かつ客観的な視点で、地域課題を分析・解決できる力」を養うと中で、地域に愛着をもった関係人口となり、将来にわたって各地域の持続可能性向上に貢献する</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○デジタル活用による、地域・学校の壁を越えた課題解決型人材の育成</p> <p>・オンライン課外活動等の実施(委託費等) 26,664千円</p> <p>・人材育成サポートスタッフの配置・育成(人件費等) 89,449千円</p> <p>○新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出</p> <p>・海外も含む多様な生徒募集の実施(実施経費等) 92,941千円</p> <p>・多様な留学生の受け入れ体制整備(委託費等) 507,351千円</p> <p>・多様な留学生の受け入れ施設の整備・改修(改修費等) 296,431千円※交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費の対象</p> <p>○自走化に向けた成果の見える化、及び社会資源獲得</p> <p>・社会資源獲得プロジェクトに係る費用(委託費等) 40,436千円</p>						
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①外部から地域に越境し居住する中高生の数(+237人)</p> <p>②越境プログラムに参加した中高生の数(+154人)</p> <p>③オンラインプログラムに参加した中高生の数(+485人)</p> <p>④課題解決型人材の育成に係る指標(+12.0ポイント)</p>					関連 URL	https://ekkyonet-mirai.jp/

山形県小国町、北海道夕張市、北海道上ノ国町、北海道奥尻町、北海道ニセコ町、北海道音威子府村、北海道幌加内町、北海道苫前町、北海道湧別町、北海道大空町、北海道むかわ町、北海道上士幌町、北海道鹿追町、北海道標津町、岩手県花巻市、岩手県西和賀町、岩手県大槌町、岩手県岩泉町、山形県金山町、山形県遊佐町、福島県只見町、福島県金山町、新潟県胎内市、新潟県阿賀町、石川県能登町、福井県坂井市、長野県白馬山麓事務組合、静岡県伊豆市、静岡県川根本町、京都府京丹波町、奈良県五條市、島根県奥出雲町、島根県川本町、島根県海士町、岡山県真庭市、岡山県和気町、広島県北広島町、広島県大崎上島町、愛媛県砥部町、高知県土佐町、高知県本山町、鹿児島県錦江町、鹿児島県南大隅町、沖縄県久米島町(44市町村)による広域連携事業

「費用面が心配」という自治体の声に応え、交付金制度を活用した現実的な参画方法をご紹介します。

主な費用	
「地域みらい留学」参画費(負担金)	必須
旅費交通費(東京、大阪等の合同説明会)	必須
住まいの整備・運営(既存施設の改修等の整備・運営費、寮舎監の人件費)	必須
広告宣伝費(WEBサイト・学校案内パンフレット・動画等)	推奨
業務委託費(1泊2日「おためし地域留学」のプログラム運営費)	推奨
人件費・業務委託費(生徒募集業務を担うスタッフ人件費や団体への委託費)	推奨

単独で予算確保が難しい場合に、
2分の1が国負担となる交付金を活用することで、自治体負担を抑えることが可能。

これまでに多くの自治体が、
交付金(※)を起点に、新たな取り組みへ参画をしています。

※旧地方創生推進交付金、デジタル田園都市国家構想交付金等

※申請経費についてのご相談は事務局がサポート致します。

総務省の地域力創造施策の新規・拡充事業について

- 人の流れの創出・拡大、地域経済の好循環、自治体DXに関する施策を強化
- 特に『地域の担い手』としての潜在力が高い『女性、若者、シニア、外国人、副業人材』へのアプローチ強化

1 地方への人の流れの創出・拡大

① 二地域居住・関係人口

- ・ 二地域居住促進法の成立（R6.5月）を踏まえ、自治体の二地域居住・関係人口の取組に係る特別交付税措置を創設【新規】

② 地域活性化起業人

- ・ 企業退職後のシニア層の活用も可能とする「地域活性化シニア起業人（仮称）」を創設【新規】
- ・ 三大都市圏外の政令市等に所在する企業へ対象拡大
- ・ マッチングプラットフォームの構築【国費】

③ 地域おこし協力隊

- ・ 若者（20～30代が隊員の7割）をメインターゲットとしつつ、女性、シニア、外国人向けの戦略的広報強化【国費】
- ・ 隊員の募集・活動に関する特別交付税措置を拡充
- ・ J E T（語学指導等を行う外国青年招致事業）終了者が同じ地域で地域おこし協力隊になれるよう地域要件を緩和

④ ふるさとミライカレッジ

- ・ 女性・若者に魅力的な地域づくり、地域おこし協力隊等の担い手の裾野拡大のため、大学と地域が連携した課題解決プロジェクトに関する特別交付税措置を創設【新規】
- ・ モデル事業、マッチングプラットフォームの構築【国費】

2 地域経済の好循環による付加価値の創造

① 事業承継等人材マッチング

- ・ 事業承継人材、都市部の副業人材、若者・女性・シニア・外国人等の地域内外の人材と地域企業とのマッチングに係る特別交付税措置を創設【新規】
- ・ 事業承継等の地域ネットワークづくりを推進【国費】

② ローカル10,000プロジェクト

- ・ 創業・第二創業等への支援件数拡大。重点支援（補助率1/2→3/4にかさ上げ）の対象に従来の「デジタル」「脱炭素」に加えて「女性・若者活躍」追加【国費】
- ・ 創業等の地域ネットワークづくりを推進【国費】

③ 特定地域づくり事業協同組合

- ・ 中小企業関係団体との連携による設立支援を強化
- ・ 地域おこし協力隊任期後の受け皿、女性、若者、シニア等の定着につなげるよう各施策と連携

3 自治体DXの推進（デジタル人材確保）

- ・ 市町村の求める人材プール機能を都道府県が確保できるよう、地方交付税措置を拡充
- ・ 都道府県の人材確保を支援するため外部専門人材・協力企業リストの拡充、自治体と企業等をコーディネート、アクセラレータの任命【国費】

自治体が実施する二地域居住・関係人口施策への支援（特別交付税措置）

総務省では、都道府県・市町村が実施する以下の経費に対し、特別交付税措置を講ずることとしている。

- 地方自治体が実施する二地域居住・関係人口施策に要する経費（措置率0.5×財政力補正）
- 「二地域居住コーディネーター」の設置に要する経費（1人当たり500万円上限（兼任の場合40万円上限））

情報発信

- ★二地域居住希望者等に対する情報発信に係る財政措置
- ・相談会、セミナー等の開催に要する経費
- ・関連イベント等への相談ブースの出展に要する経費
- ・各地方自治体のホームページや東京事務所等における情報発信に要する経費
- ・コワーキングスペースの紹介などテレワーク環境の発信に要する経費
- ・二地域居住等の促進のためのパンフレット・プロモーション動画等の制作に要する経費
- ・二地域居住者等の登録のためのシステムの構築・維持に要する経費（※1）等

相談窓口の設置

- ★二地域居住希望者等が地域での具体的な生活等の相談ができる窓口の設置に係る財政措置
- ・地域内の相談窓口の設置に要する経費
- ・都市部等の地域外での相談窓口の設置に要する経費

コーディネーターによる支援

- ★二地域居住希望者等に対する情報提供や相談対応等を行うコーディネーターの設置に係る財政措置
- ・二地域居住・関係人口に関する施策の企画・立案・実行の支援
- ・二地域居住希望者等への情報提供や相談対応、円滑な地域生活への支援
- ・「デュアルスクール」・保育園留学における児童生徒の円滑な就学・保育の支援
- ・地域留学の支援（※4）等

きっかけづくり

- ★二地域居住を検討する上での不安・懸念を軽減、払拭することを目的とした体験の実施等に係る財政措置
- ・「二地域居住体験ツアー」等の実施に要する経費
- ・地域留学のプログラムづくりに要する経費
- ・「デュアルスクール」や保育園留学のプログラムづくりに要する経費
- ・移住体験住宅・サテライトオフィス・コワーキングスペース・ワーケーション施設の整備に要する経費（※2）
- ・地域住民との交流機会やプログラムの実施に要する経費
- ・地域のファンクラブの設置に要する経費
- ・二地域居住意識動向の調査に要する経費 等

受入環境の整備

- ★二地域居住希望者等の就職や兼業・副業の支援又は住居支援に係る財政措置
- ・二地域居住希望者等に対する就職や兼業・副業の支援、住居支援（空き家バンクの運営、住宅改修への助成）（※3）等

（※1）二地域居住者等の登録のためのシステムの構築に要する経費であって、デジタル活用推進事業債（仮称）の対象とならないものについては、本特別交付税措置の対象となる。

（※2）民間事業者が実施主体となる整備は新築する場合を除く。地方自治体が実施主体となる整備は地域活性化事業債の活用が可能である。なお、地域活性化事業債の対象経費については、本特別交付税措置の対象とはならない。

（※3）二地域居住者の交通費への支援等の現金給付は対象外。

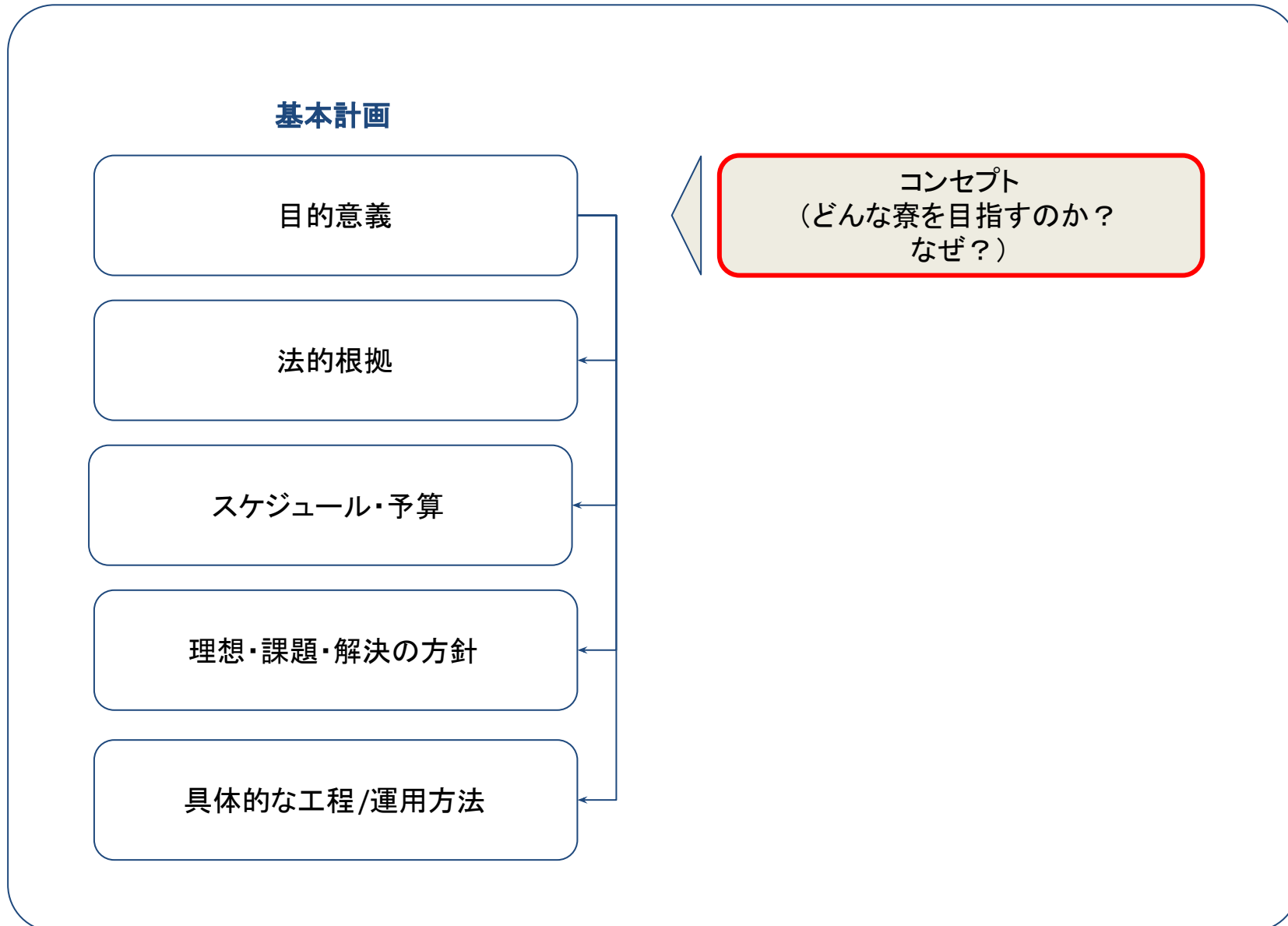
（※4）地域外からの学生の受入れを主たる目的としてもに限り、学校魅力化を主たる目的としたものを除く。また、当該地方自治体の地方創生総合戦略等の計画に位置付けられたものに限る。

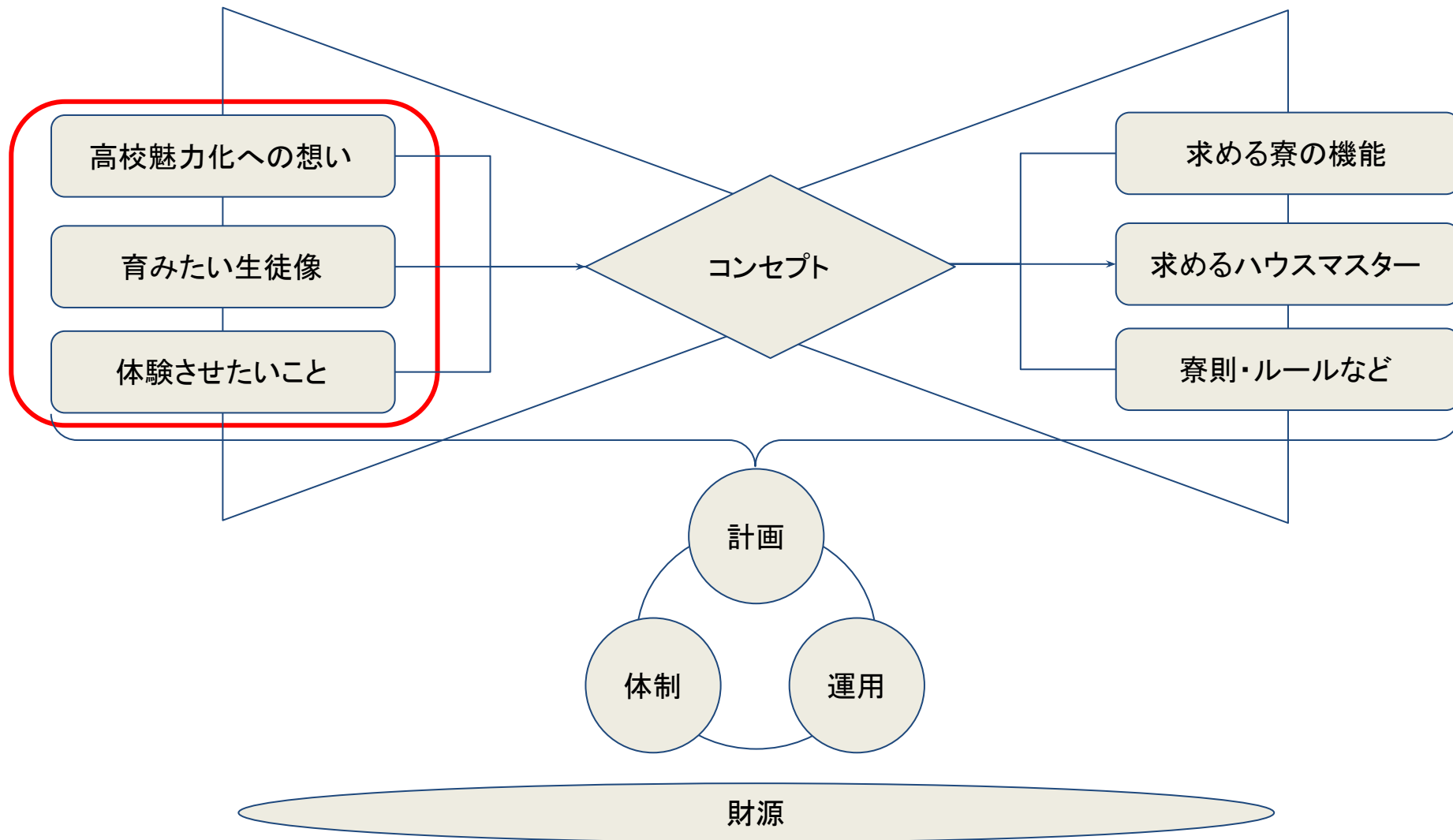
（※5）二地域居住・関係人口施策については、移住・定住対策と一体的に実施することもある。二地域居住・関係人口施策を主たる目的とする事業の場合は、二地域居住・関係人口施策に係る特別交付税措置、移住・定住対策を主たる目的とする事業の場合は、移住・定住施策に係る特別交付税措置として算定する。

質疑応答

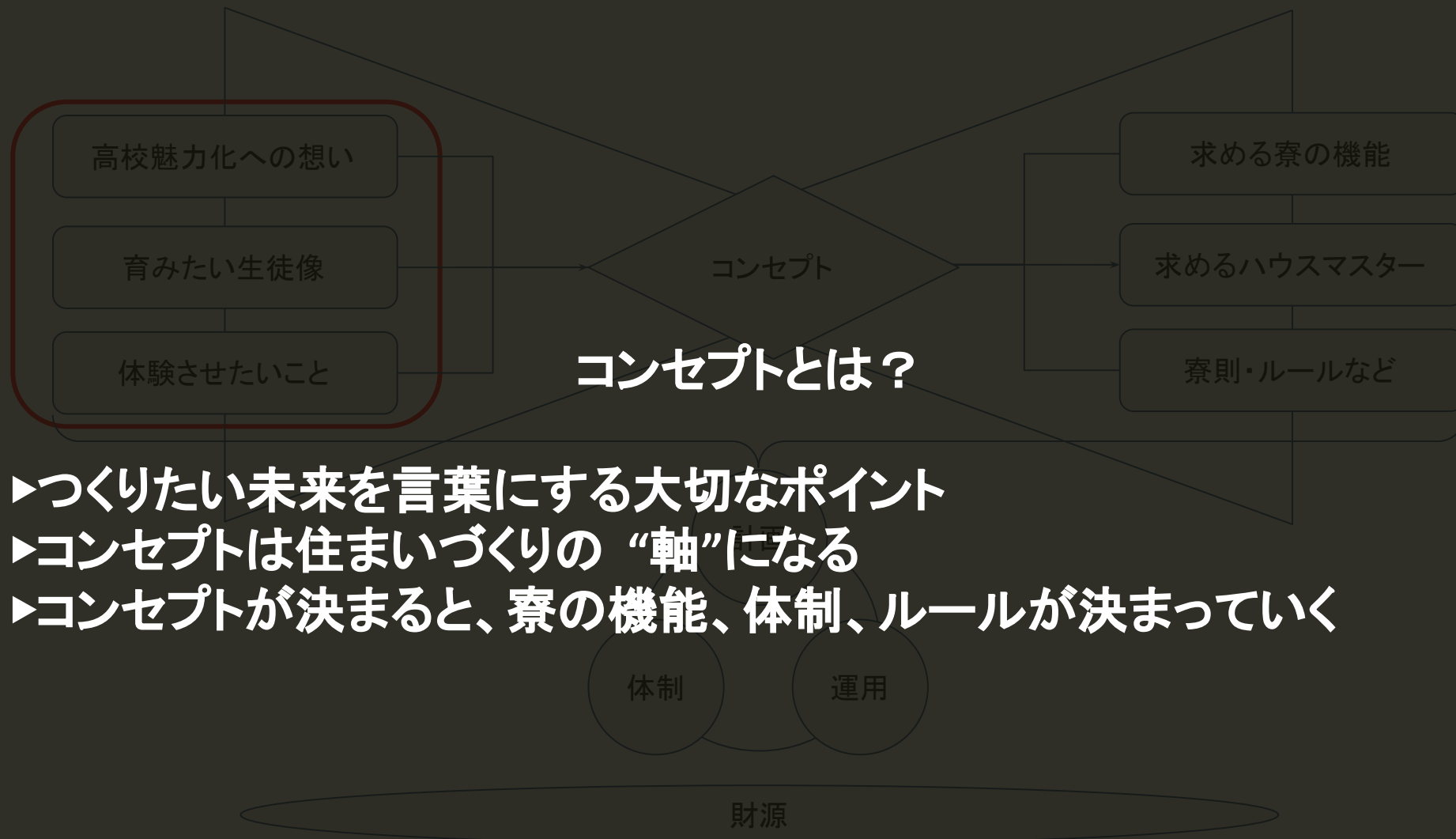
まとめ

【再掲】コンセプトは全ての出発点であり第一ボタン





コンセプトを決めることで、寮に求める機能や、求めるハウスマスターの役割などを決めることができます。
コンセプトの実現に向けて、計画・体制・運用でそれぞれ行うことを逆算して設計していくことが重要です。



コンセプトを決めることで、寮に求める機能や、求めるハウスマスターの役割などを決めることができます。
コンセプトの実現に向けて、計画・体制・運用でそれぞれ行うことを逆算して設計していくことが重要です。

お知らせ

	研修内容	日時	目指す状態
1	住まい整備の全体像	4月25日(金) 16:00～	入居者受け入れまでに 何をする必要があるか分かる
2	【基本計画】 つくりたい住まいを描く	5月13日(火) 16:00～	住まい整備の軸となる基本計画を 関係者に共有できる
3	【実施計画】 計画を具体化する	6月3日(火) 16:00～	住まいに関わる人たちの 関係性が整理され 年間の運営計画が描ける
4	【運営体制】 継続できる仕組みをつくる	8月5日(火) 16:00～	住まい運営の担当者が 日々の業務を安定して回せる
5	【事例共有】 他地域の実践から学ぶ	9月1日(月) 16:00～	基本計画～実施計画～運営体制 の作り方が分かる

本日の資料と動画は参画校サイトに掲載します。
本日の研修へのご意見やご感想をぜひお聞かせください。

